

## V 在宅介護実態調査結果



## V 在宅介護実態調査結果

### 1 概況等

#### (1) 調査対象者の属性

性別、介護者の年齢、世帯は、令和4年度調査と比較して、大きな差はみられない。

年齢構成は、令和4年度調査と比較して、85歳～89歳が低く、90歳以上が高くなっている。

介護者と本人との関係は、令和4年度調査と比較して、配偶者が高く、子、子の配偶者が低くなっている。

(%)

性別	(n)	男性	女性	回答しない	無回答
今回調査	419	36.5	63.5	—	0.0
令和4年度調査	514	34.8	65.2	—	0.0

(%)

年齢構成	(n)	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
今回調査	419	1.7	3.3	8.6	16.7	22.9	24.8	22.0	0.0
令和4年度調査	514	3.3	3.1	8.9	12.1	21.2	30.0	15.8	0.0

(%)

介護者と本人との関係	(n)	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
今回調査	332	34.3	49.4	4.5	0.0	1.8	3.0	6.9
令和4年度調査	433	29.1	55.2	8.1	1.2	3.2	3.2	0.0

(%)

介護者の年齢	(n)	20歳未満	20代	30代	40代	50代
今回調査	332	0.0	0.0	1.8	5.1	28.6
令和4年度調査	433	0.2	0.2	1.4	8.5	33.0
	(n)	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
今回調査	332	25.9	15.4	18.4	0.6	4.2
令和4年度調査	433	22.9	18.2	13.9	1.6	0.0

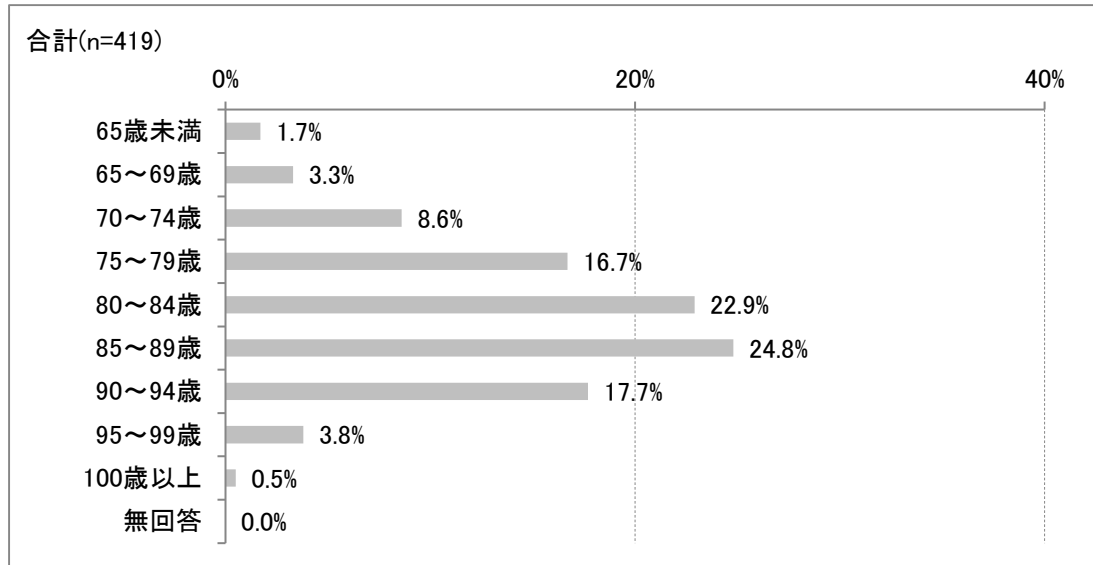
(%)

世帯	(n)	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
今回調査	423	31.2	26.0	42.8	0.0
令和4年度調査	519	28.7	23.9	47.0	0.4

## (2) 要介護者本人の基礎データ

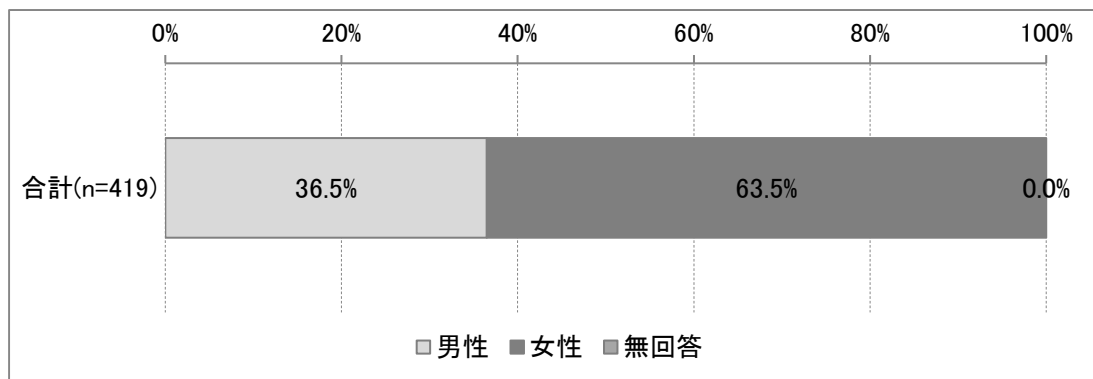
### ①年齢構成

「85～89歳」の割合が最も高く24.8%となっている。次いで、「80～84歳（22.9%）」、「90～94歳（17.7%）」となっている。



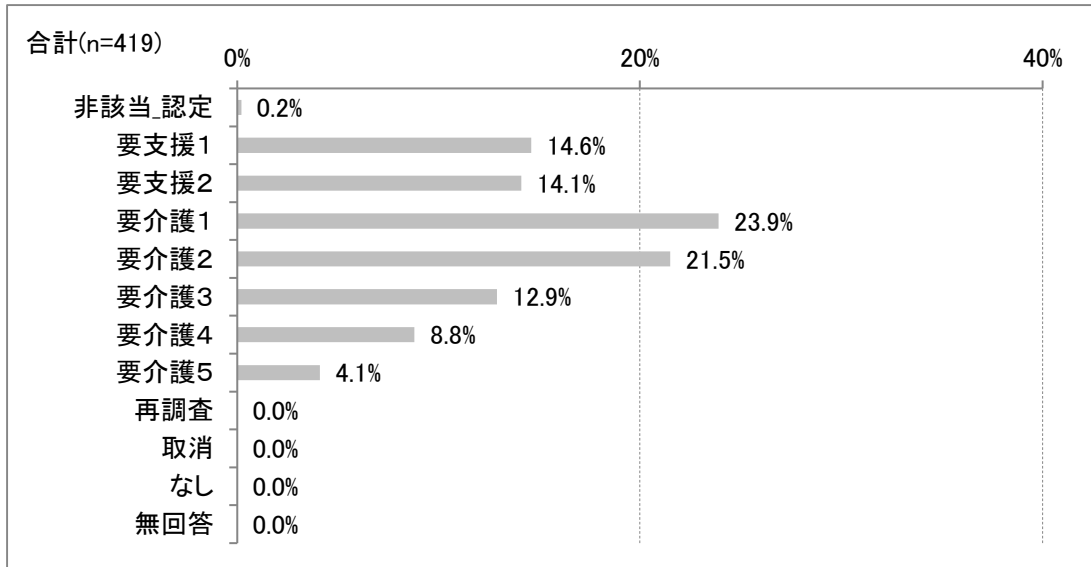
### ②性別

「女性」の割合が63.5%、男性の割合が36.5%となっている。



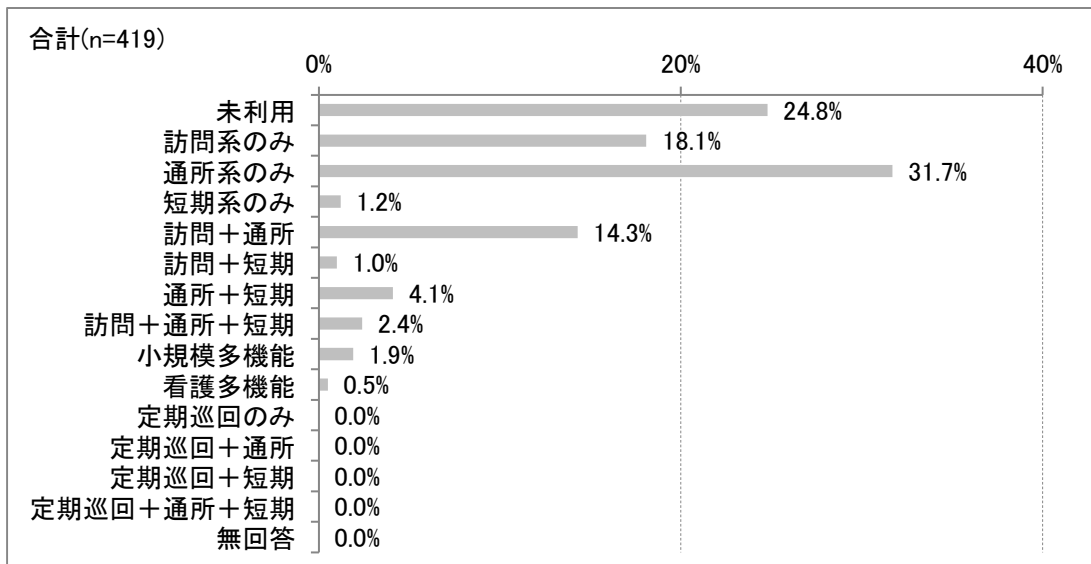
### ③要介護度（二次判定結果）

「要介護1」の割合が最も高く23.9%となっている。次いで、「要介護2（21.5%）」、「要支援1（14.6%）」となっている。



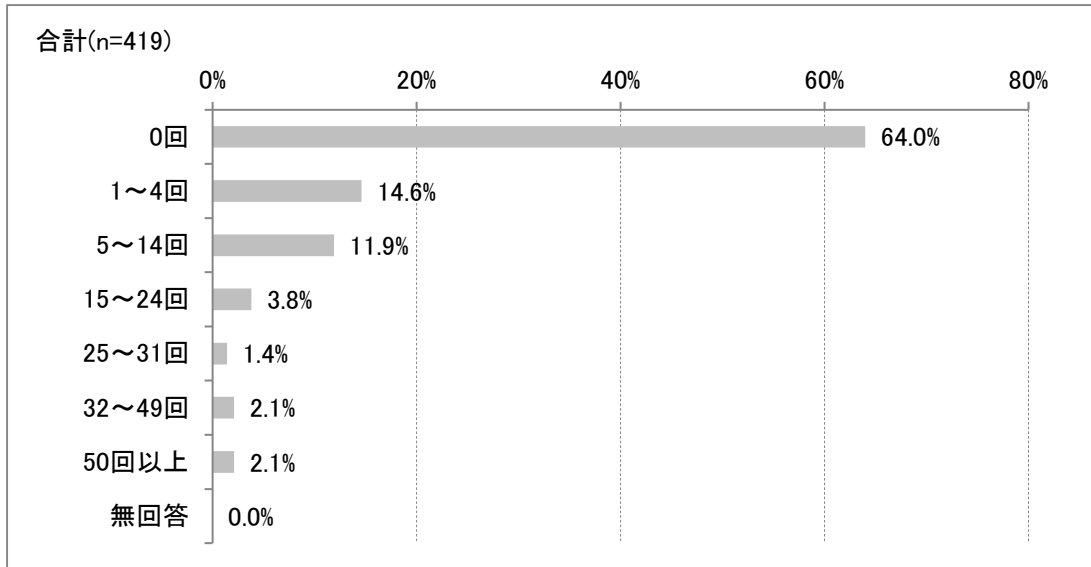
### ④サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く31.7%となっている。次いで、「未利用（24.8%）」、「訪問系のみ（18.1%）」となっている。



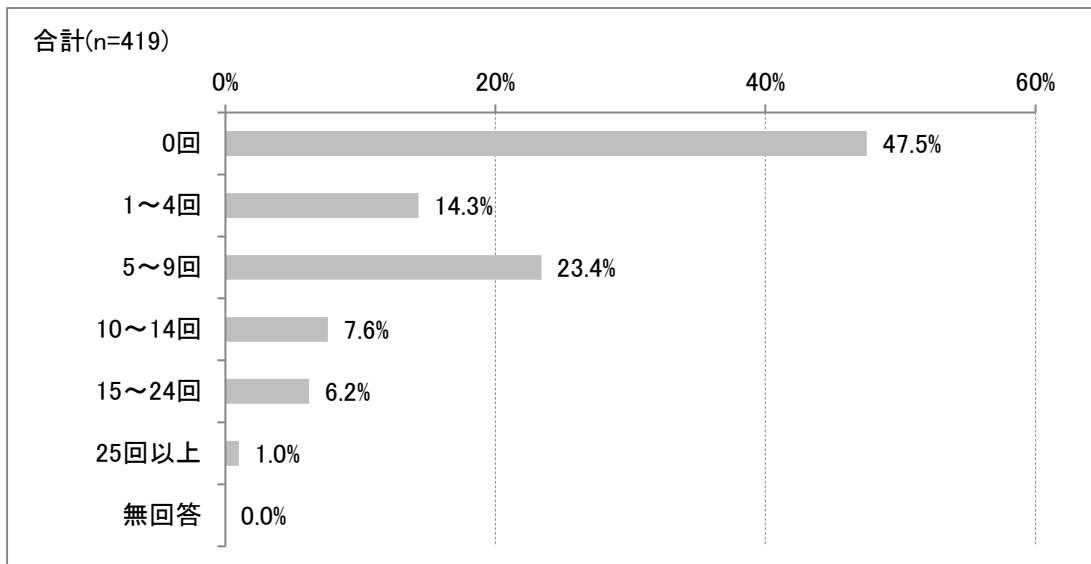
### ⑤訪問系サービス利用回数

「0回」の割合が最も高く 64.0%となっている。次いで、「1～4回 (14.6%)」、「5～14回 (11.9%)」となっている。



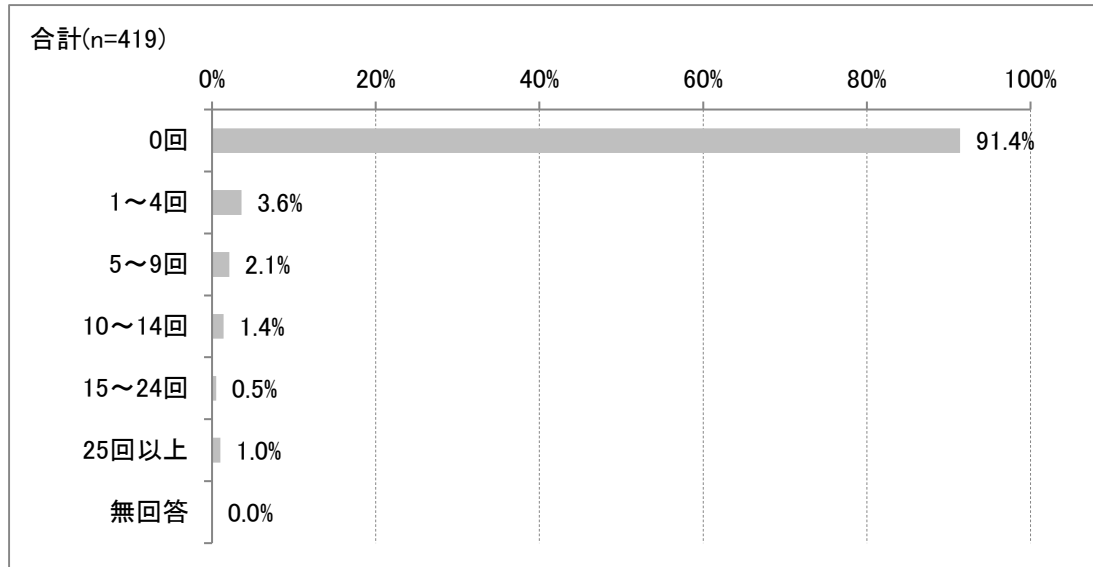
### ⑥通所系サービス利用回数

「0回」の割合が最も高く 47.5%となっている。次いで、「5～9回(23.4%)」、「1～4回(14.3%)」となっている。



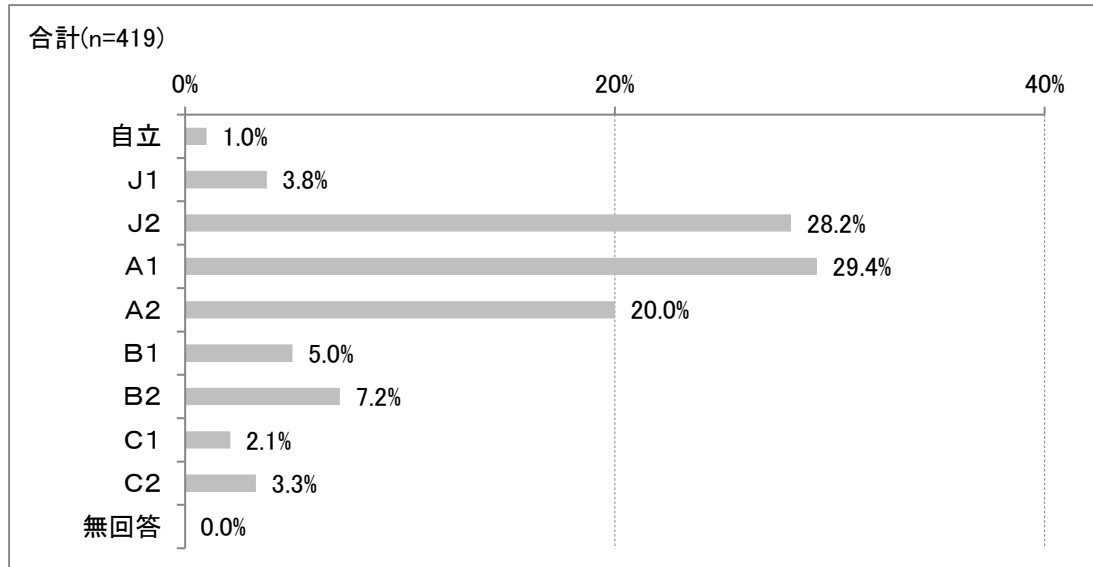
**⑦短期系サービス利用回数**

「0回」の割合が最も高く91.4%となっている。次いで、「1～4回(3.6%)」、「5～9回(2.1%)」となっている。



⑧障害高齢者の日常生活自立度

「A1」の割合が最も高く 29.4%となっている。次いで、「J2 (28.2%)」、「A2 (20.0%)」となっている。



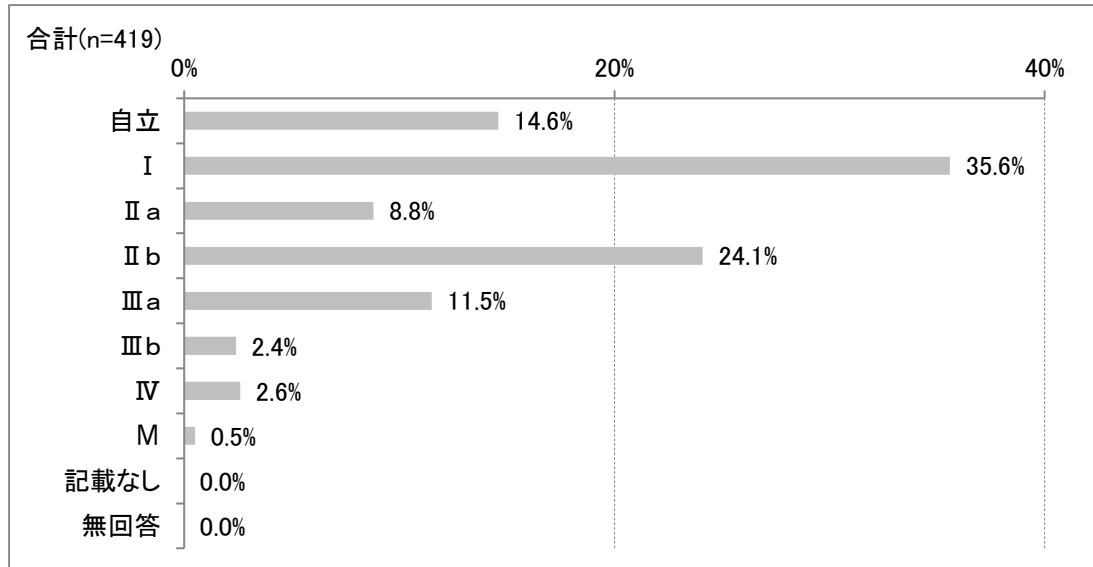
(参考) 障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1 交通機関等を利用して外出する 2 隣近所なら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2 介助により車いすに移乗する
	ランクC	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1 自力で寝返りをうつ 2 自力では寝返りもうてない

出典：厚生労働省・認定調査員テキスト 2009 改訂版 (平成 30 年 4 月改訂)

### ⑨認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く35.6%となっている。次いで、「II b (24.1%)」、「自立 (14.6%)」となっている。



#### (参考) 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例	
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。		
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。		
	II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。		
	III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII a に同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ	
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	

出典：厚生労働省・認定調査員テキスト 2009 改訂版（平成 30 年 4 月改訂）

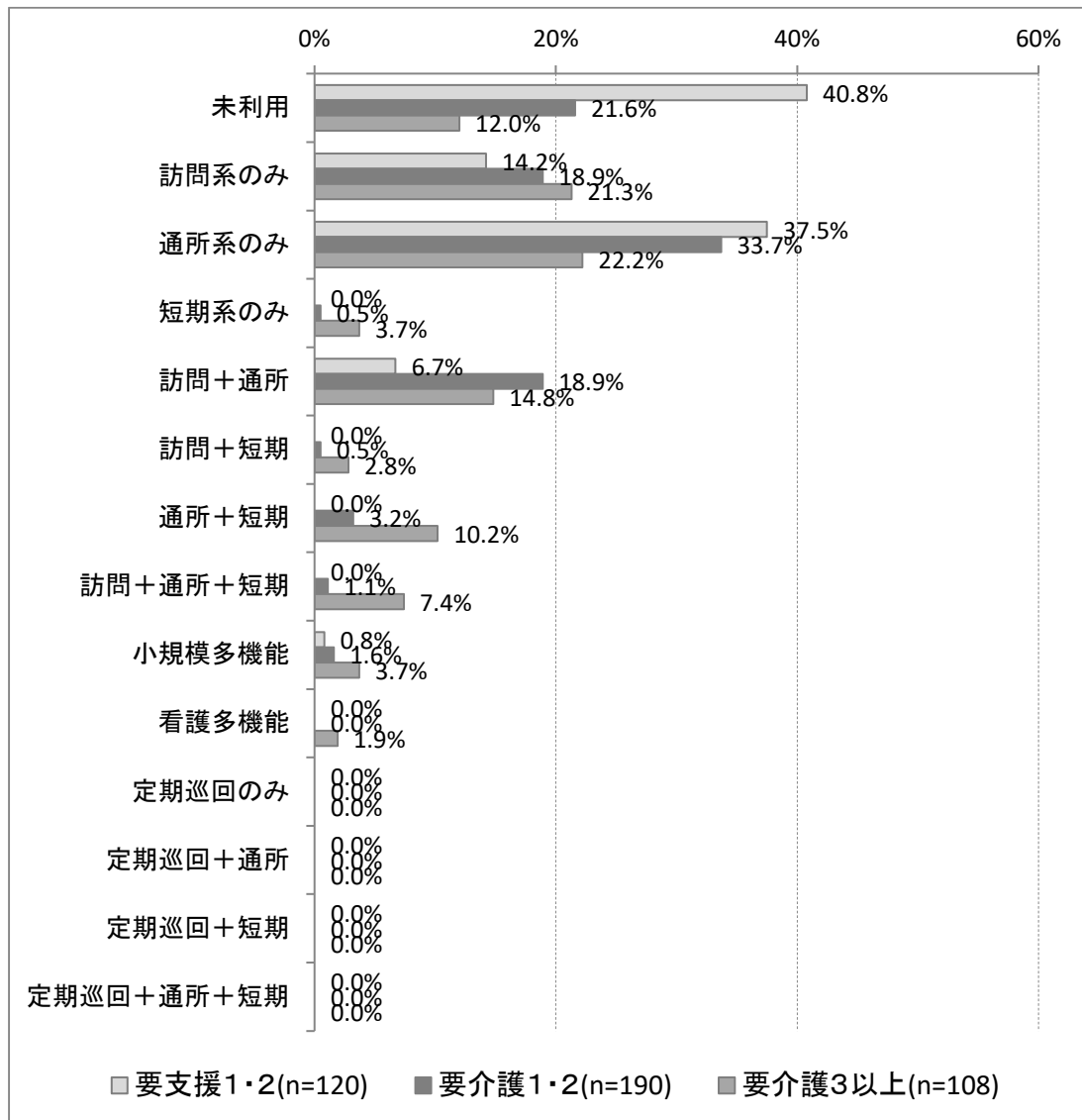
⑩ サービス利用の組み合わせ

要介護度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が40.8%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が37.5%、「訪問系のみ」が14.2%となっている。

「要介護1・2」では「通所系のみ」が33.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が21.6%、「訪問系のみ」、「訪問＋通所」が18.9%となっている。

「要介護3以上」では「通所系のみ」が22.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が21.3%、「訪問＋通所」が14.8%となっている。

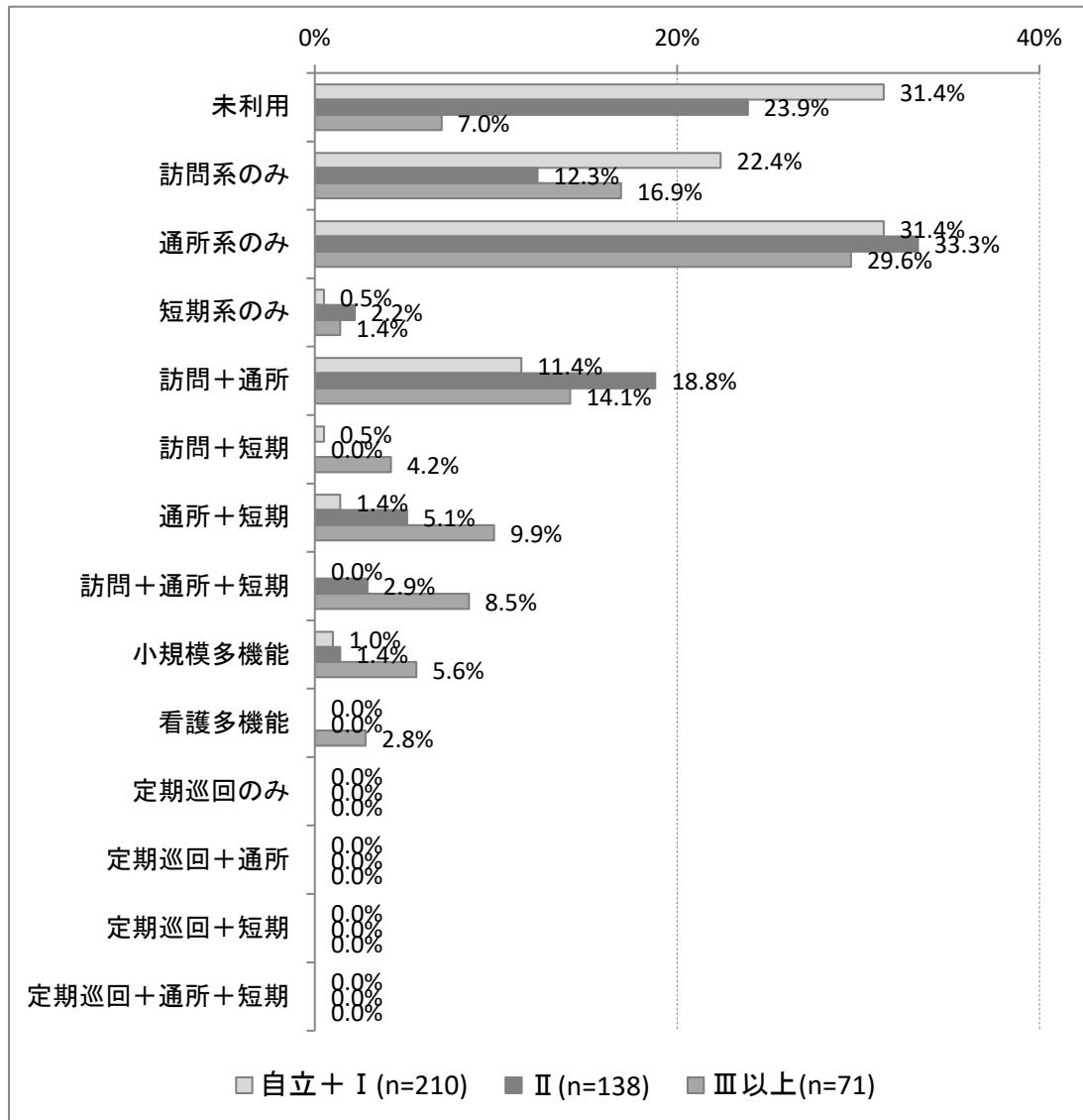


認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「未利用」、「通所系のみ」が31.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が22.4%、「訪問+通所」が11.4%となっている。

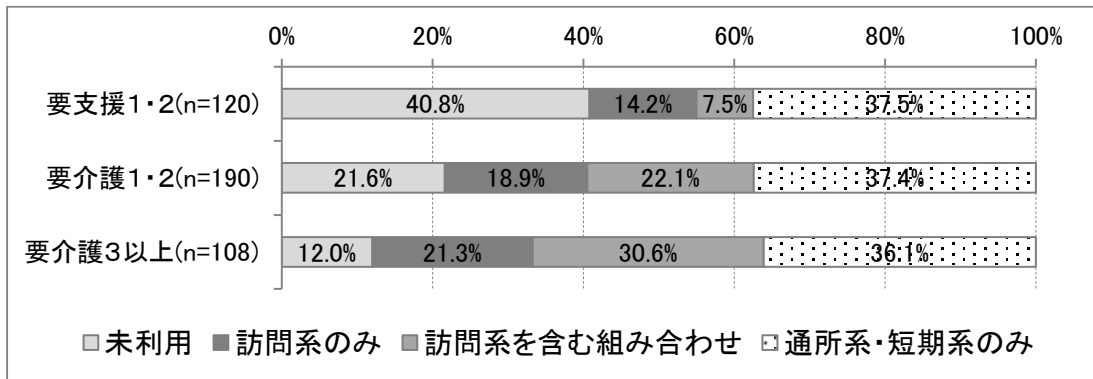
「II」では「通所系のみ」が33.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.9%、「訪問+通所」が18.8%となっている。

「III以上」では「通所系のみ」が29.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が16.9%、「訪問+通所」が14.1%となっている。



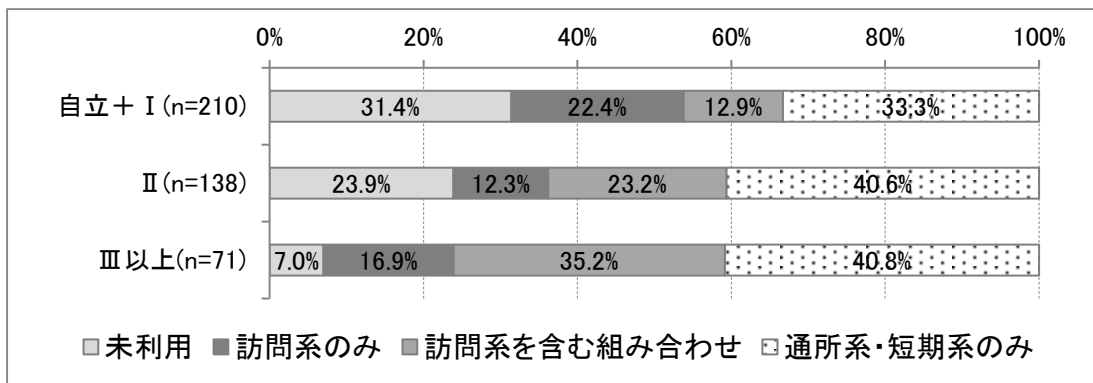
要介護度別・サービス利用の組み合わせ（サービス利用区分集約版）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が最も割合が高く、「要介護1・2」、「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が最も割合が高くなっている。



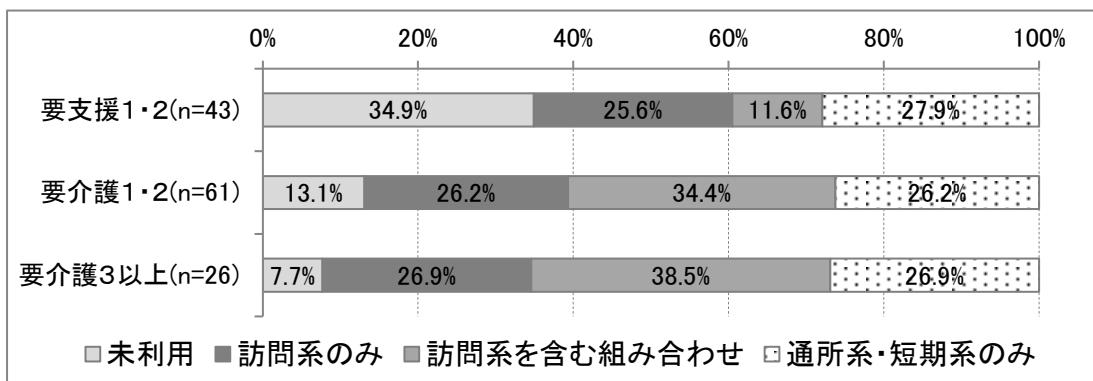
認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（サービス利用区分集約版）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、いずれも「通所系・短期系のみ」の割合が最も高くなっている。



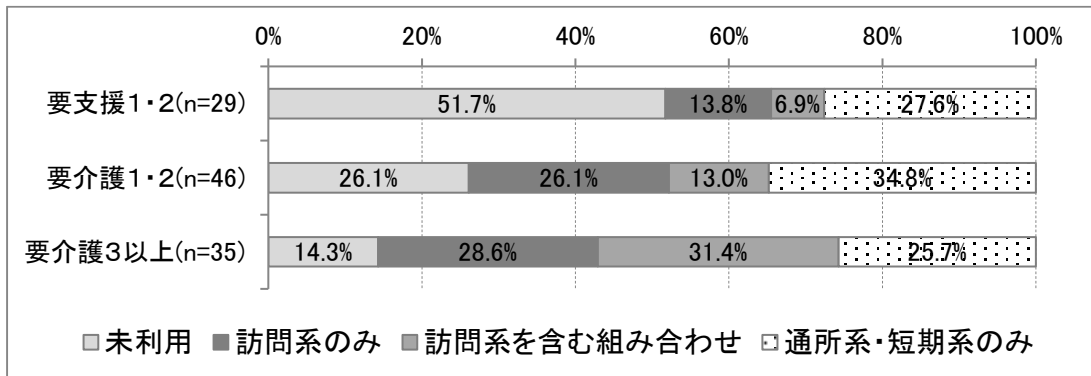
単身世帯・要介護度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを単身世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が最も割合が高く、「要介護1・2」、「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高くなっている。



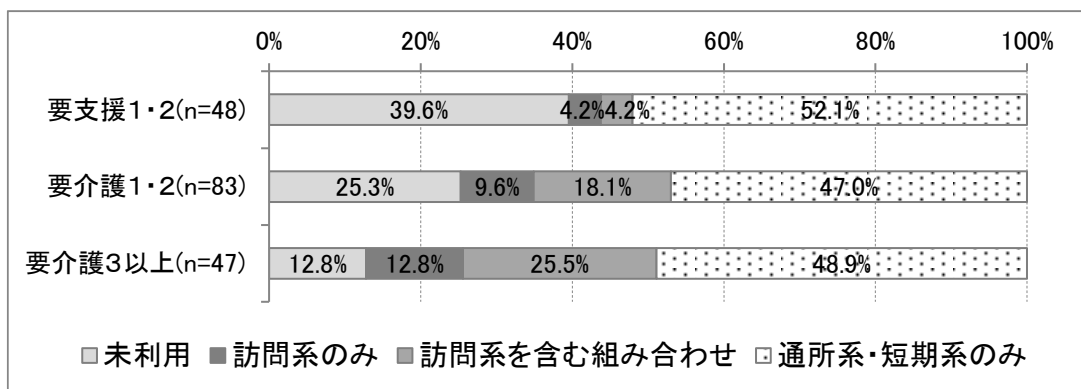
### 夫婦のみ世帯・要介護度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを夫婦のみ世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が、「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が、「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高くなっている。



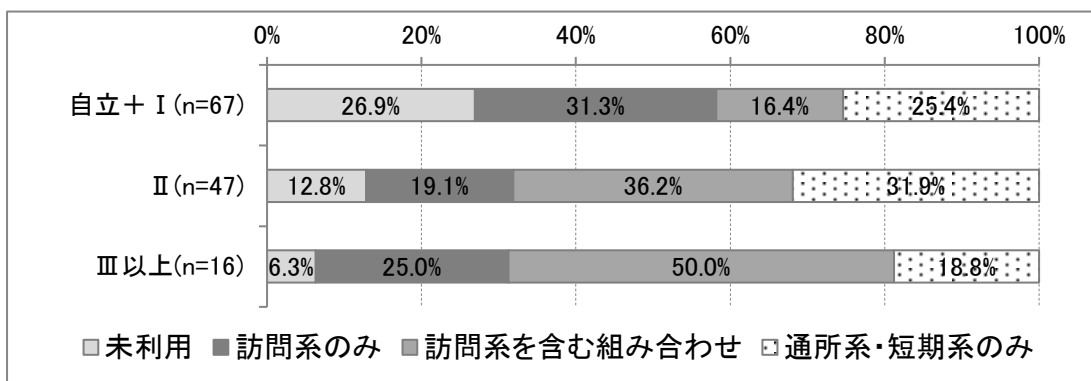
### その他世帯・要介護度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせをその他世帯の二次判定結果別にみると、いずれも「通所系・短期系のみ」の割合が最も高くなっている。



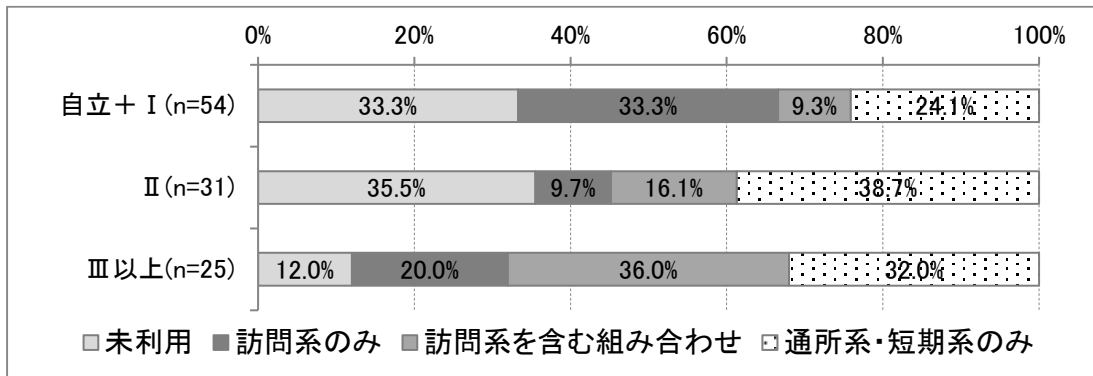
### 単身世帯・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを単身世帯の認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「訪問系のみ」が最も割合が高く、「Ⅱ」、「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高くなっている。



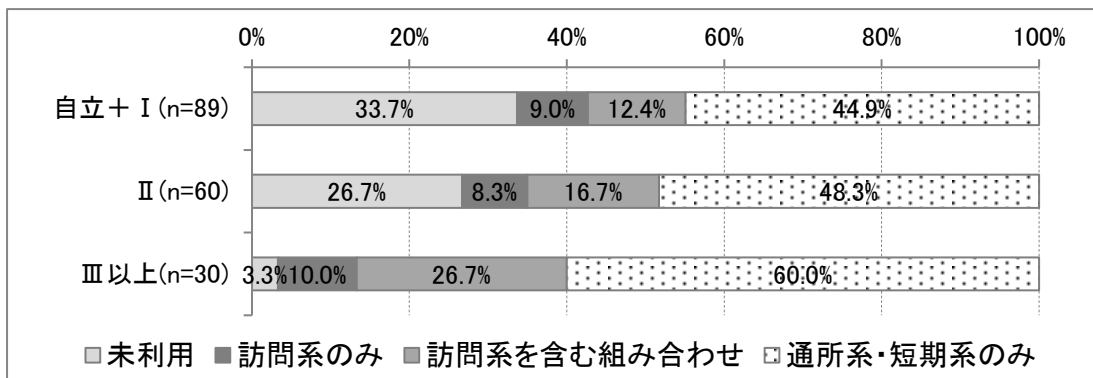
### 夫婦のみ世帯・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを夫婦のみ世帯の認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「未利用」、「訪問系のみ」が、「II」では「通所系・短期系のみ」が、「III以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高くなっている。



### その他世帯・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせをその他世帯の認知症高齢者自立度別にみると、いずれも「通所系・短期系のみ」の割合が最も高くなっている。



## 2 結果の概要と考察

---

### (1) 調査対象者の属性について

- 単身・夫婦のみ世帯が一定割合を占め、家族支援の弱体化がうかがえる。(問1)
- ほぼ毎日介護を受けている人は半数を占めている。(問2)

### (2) 主な介護者が行っている介護について

- 主な介護者は「子」が約半数であり、子世代への負担集中がみられる。また、配偶者による介護も一定割合あり、高齢者同士の介護が生じている。(問3)
- 介護者は50代以上が中心となっている。(問4)

### (3) 介護のための離職の有無について

- 介護離職は少数にとどまるが、一定数発生している点に留意が必要である。(問6)

### (4) 在宅生活とサービスについて

- 保険外サービスは未利用が多数であり、活用が進んでいない状況である。なお、配食や外出同行が比較的利用されている。(問7)
- 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、外出同行や移送サービスなど、移動に関するニーズが高くなっている。(問8)
- 施設等への入所・入居は、検討していない人が多数だが、検討中や申請済みといった施設等への入所・入居ニーズも一定うかがえる。(問9)

### (5) 訪問診療の利用の有無について

- 訪問診療は未利用が大半であり、在宅医療の活用が限定的である。なお、一定割合で利用がみられ、要介護度が高い人ほど利用割合が高くなっている。(問10)
- 就労中の介護者世帯では訪問診療の利用割合が低くなっている。(問10)

### (6) 介護者と就労継続について

- 主な介護者は、働いている人(フルタイム勤務・パートタイム勤務)と働いていない人がそれぞれ5割弱程度で同程度となっている。(問11)
- 就労している介護者は子世代が中心となっている。(問11)
- 主な介護者の就労継続について、問題を抱えていたり、続けていくのが難しいと考えている割合が約半数となっている。(問13)
- 介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」や「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」が高くなっている。(問14)

## (7) 考察

### ①調査対象者の属性について

- 単身・夫婦のみ世帯が一定割合を占め、家族による支援力の低下への対応が課題である。
- 日常的に介護を受ける人が多く、継続的な在宅介護支援の充実が求められている。

### ②主な介護者が行っている介護について

- 主な介護者が子に集中しており、子世代への負担軽減が課題である。また、配偶者による介護も一定程度みられ、高齢者同士の介護への支援強化が求められている。
- 介護者が中高年層に偏っており、老老介護など、介護負担への配慮が重要である。

### ③介護のための離職の有無について

- 介護離職は一定数発生しており、就労継続を支える支援体制の整備が課題である。

### ④在宅生活とサービスについて

- 保険外サービスの利用が進んでおらず、周知と活用促進が課題である。
- 外出同行や移送に関するニーズが高く、移動支援の充実が求められている。
- 施設入所を検討する人も一定数おり、ニーズに応じたサービス提供体制の強化が重要である。

### ⑤訪問診療の利用の有無について

- 訪問診療の利用が限定的であり、在宅医療の普及促進が課題である。
- 就労中の介護者世帯で利用が低く、利用しやすい体制整備が求められている。

### ⑥介護者と就労継続について

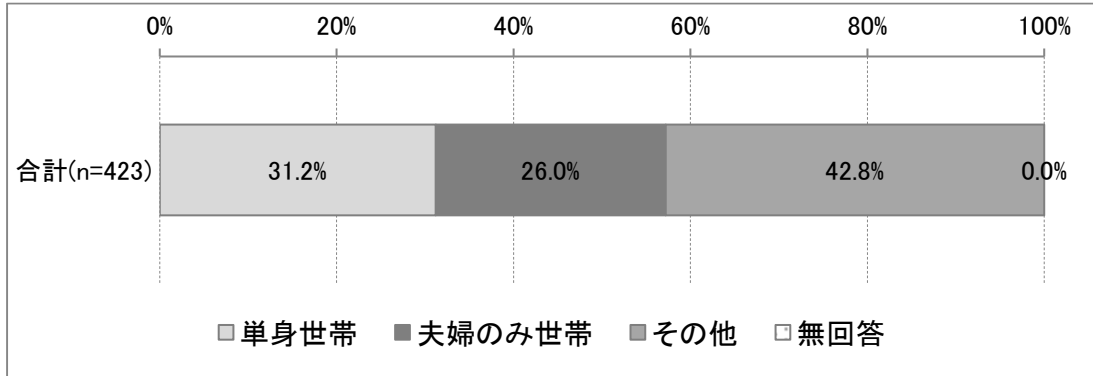
- 就労しながら介護を行っている人も半数近くいることから、就労と介護の両立支援が課題である。  
なお、子世代が就労しながら介護を担っているケースも多く、負担軽減策の強化が求められている。
- 就労継続に不安を抱える介護者が多く、継続支援の充実が重要である。
- 認知症対応や外出支援、夜間対応への不安が高く、重点的な支援が求められている。

### 3 各設問の結果

#### (1) 調査対象者の属性

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに☑）。

世帯類型は、「その他」の割合が最も高く 42.8%となっている。次いで、「単身世帯（31.2%）」、「夫婦のみ世帯（26.0%）」となっている。

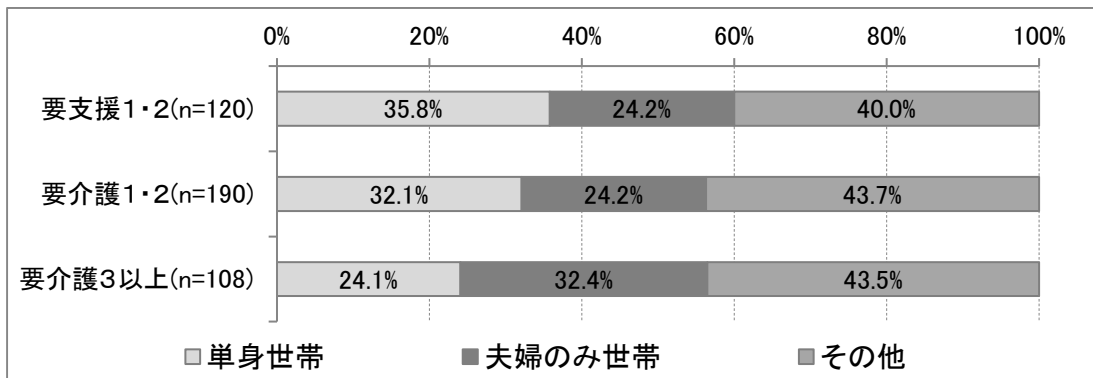


#### ■要介護度別

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他」が 40.0%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 35.8%、「夫婦のみ世帯」が 24.2%となっている。

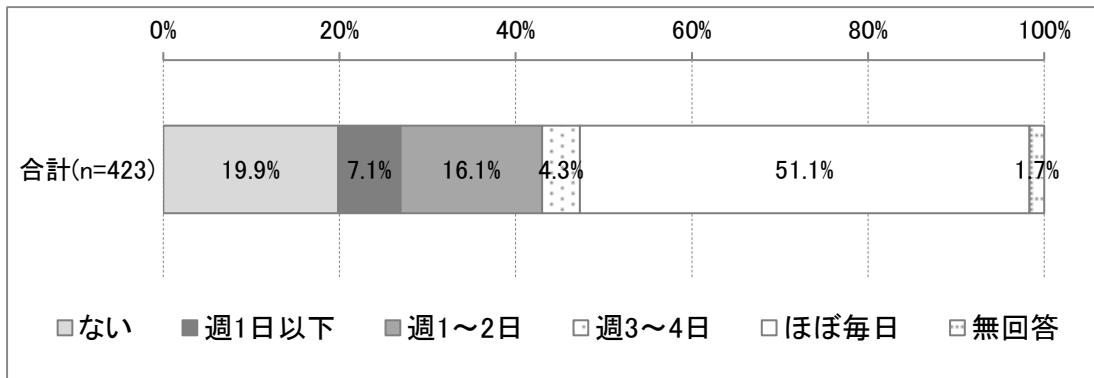
「要介護1・2」では「その他」が 43.7%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 32.1%、「夫婦のみ世帯」が 24.2%となっている。

「要介護3以上」では「その他」が 43.5%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 32.4%、「単身世帯」が 24.1%となっている。



**問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに☑）。**

家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」の割合が最も高く51.1%となっている。次いで、「ない（19.9%）」、「週1～2日（16.1%）」となっている。

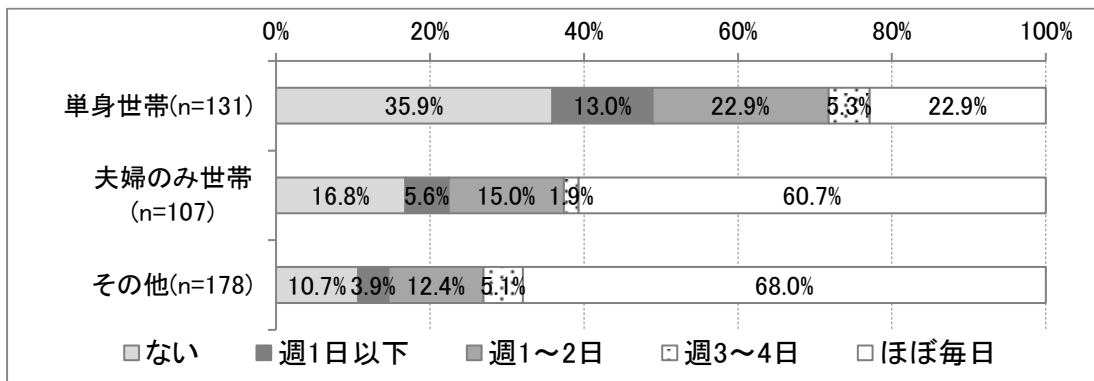


**■世帯類型別**

家族等による介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が35.9%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」、「ほぼ毎日」が22.9%、「週1日以下」が13.0%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が60.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が16.8%、「週1～2日」が15.0%となっている。

「その他」では「ほぼ毎日」が68.0%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が12.4%、「ない」が10.7%となっている。

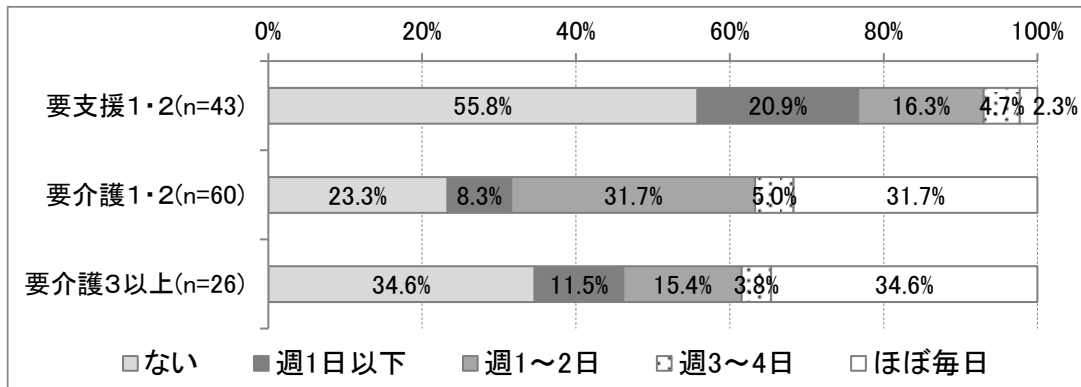


### ■単身世帯・要介護度別

家族等による介護の頻度を単身世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が55.8%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が20.9%、「週1～2日」が16.3%となっている。

「要介護1・2」では「週1～2日」、「ほぼ毎日」が31.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が23.3%、「週1日以下」が8.3%となっている。

「要介護3以上」では「ない」、「ほぼ毎日」が34.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が15.4%、「週1日以下」が11.5%となっている。

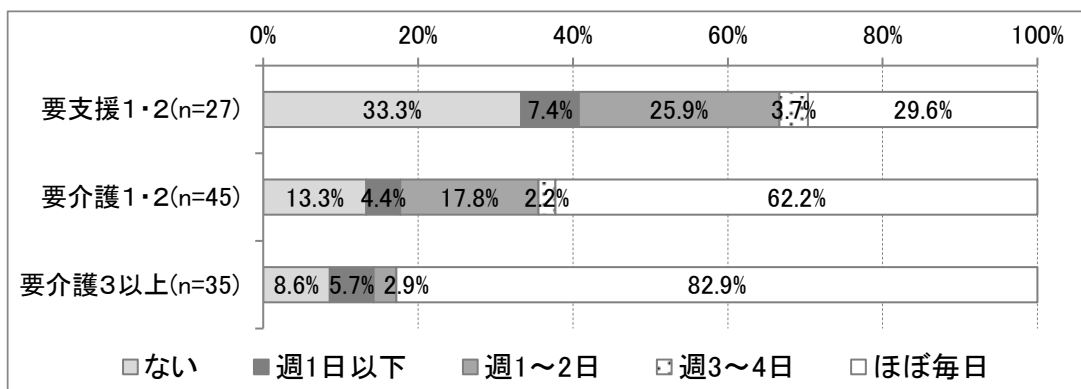


### ■夫婦のみ世帯・要介護度別

家族等による介護の頻度を夫婦のみ世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が33.3%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が29.6%、「週1～2日」が25.9%となっている。

「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が62.2%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が17.8%、「ない」が13.3%となっている。

「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が82.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が8.6%、「週1日以下」が5.7%となっている。

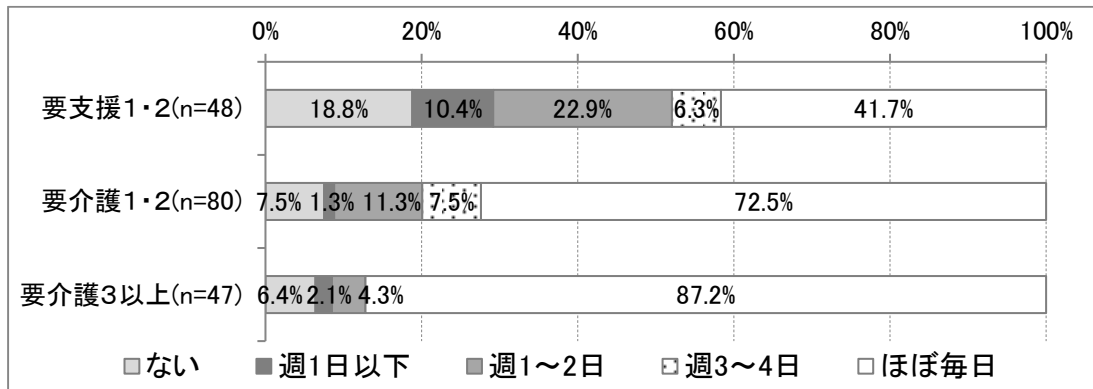


■その他世帯・要介護度別

家族等による介護の頻度をその他世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が41.7%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が22.9%、「ない」が18.8%となっている。

「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が72.5%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が11.3%、「ない」、「週3～4日」が7.5%となっている。

「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が87.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が6.4%、「週1～2日」が4.3%となっている。

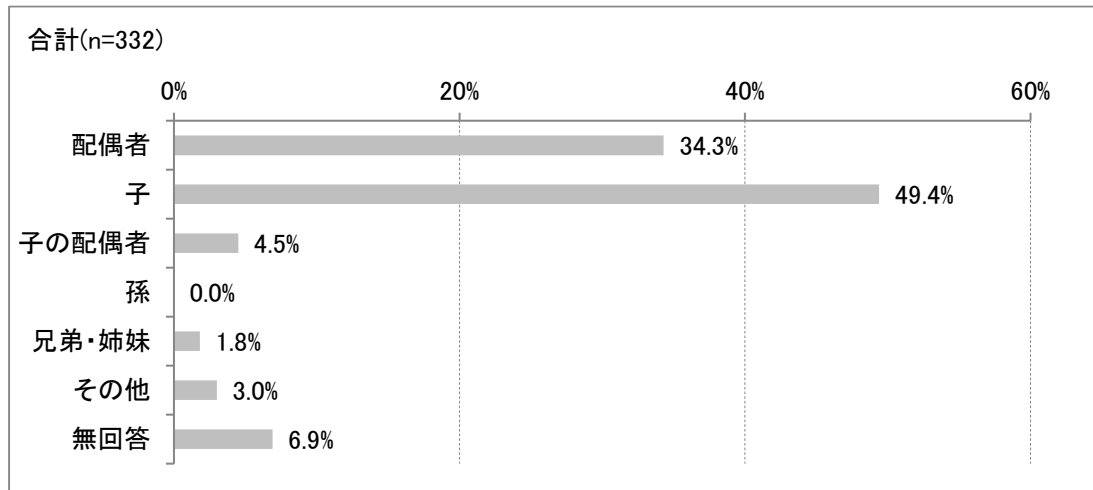


## (2) 主な介護者が行っている介護

●問3～問6は問2で「ない」以外に回答した方にお伺いします。

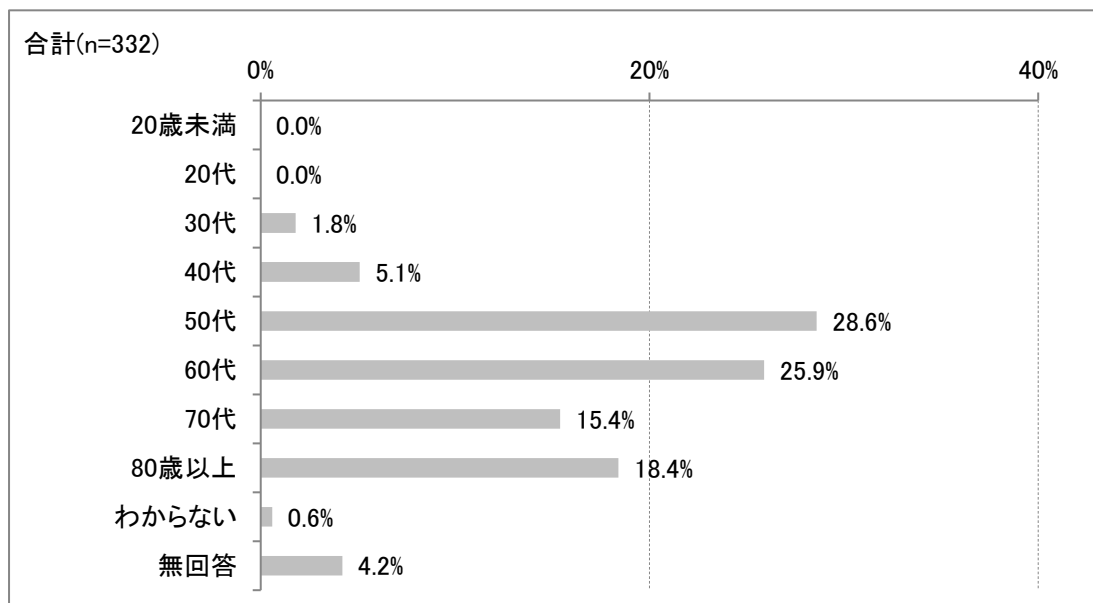
### 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つに☑）。

主な介護者の本人との関係は、「子」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「配偶者（34.3%）」、「子の配偶者（4.5%）」となっている。



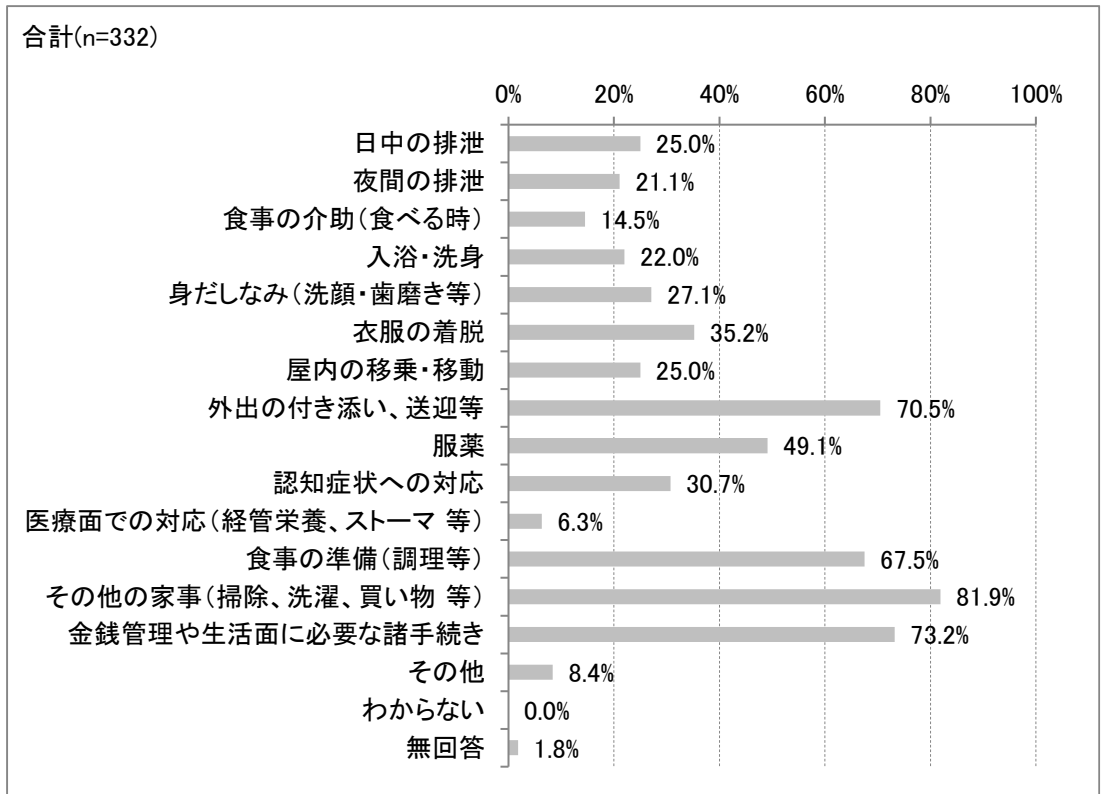
### 問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに☑）。

主な介護者の年齢は、「50代」の割合が最も高く 28.6%となっている。次いで、「60代(25.9%)」、「80歳以上（18.4%）」となっている。



**問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）。**

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く81.9%となっている。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（73.2%）」、「外出の付き添い、送迎等（70.5%）」となっている。

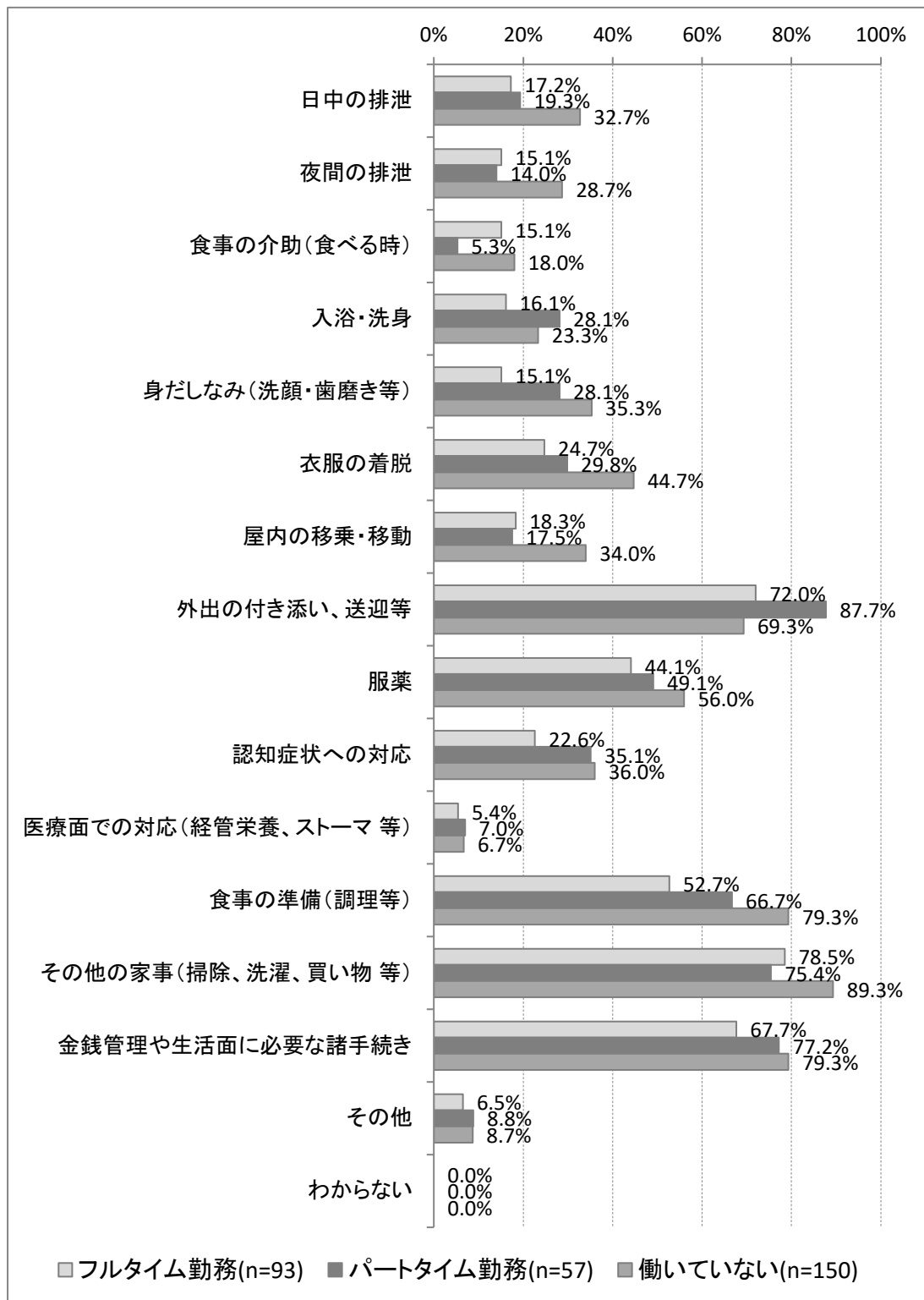


## ■就労状況別

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が78.5%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が67.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」が87.7%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.2%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が75.4%となっている。

「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が89.3%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.3%、「外出の付き添い、送迎等」が69.3%となっている。

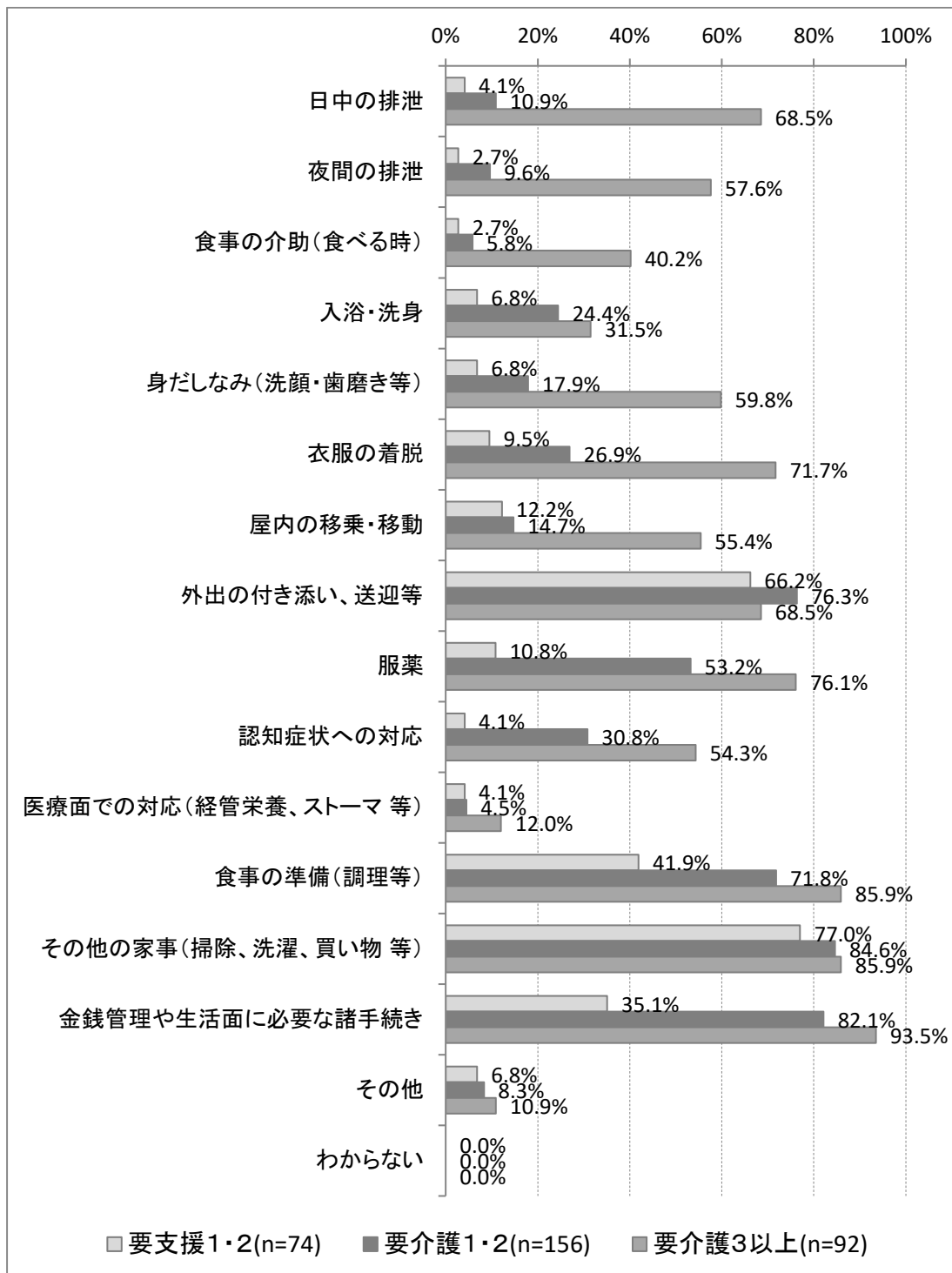


■要介護度別

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が77.0%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が66.2%、「食事の準備（調理等）」が41.9%となっている。

「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が84.6%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.1%、「外出の付き添い、送迎等」が76.3%となっている。

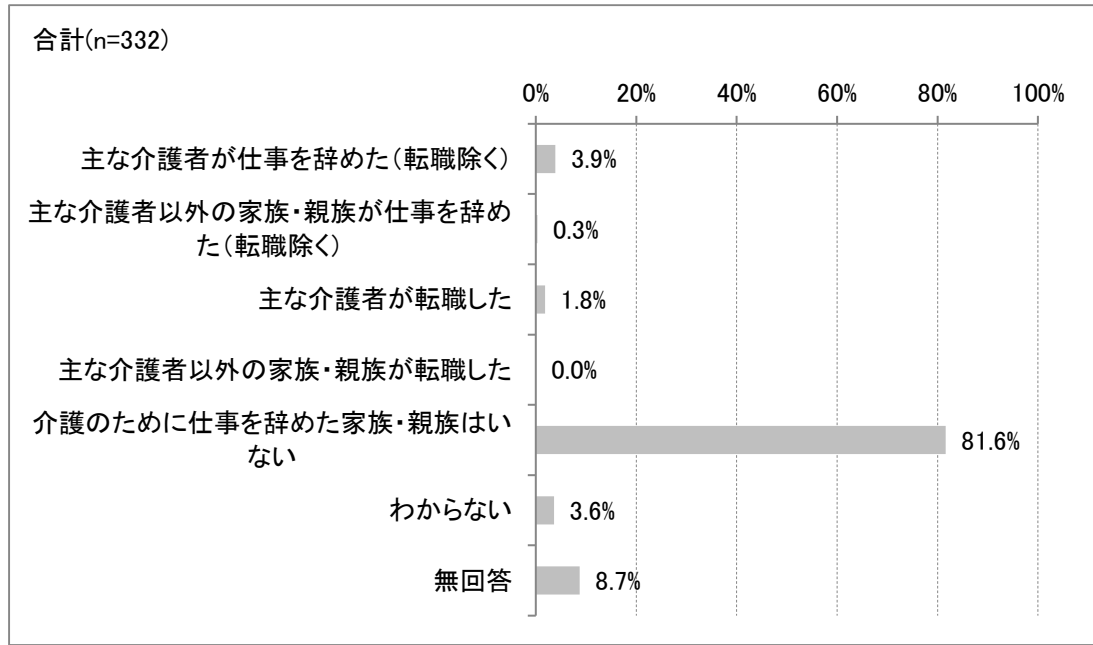
「要介護3以上」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が93.5%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が85.9%、「服薬」が76.1%となっている。



## (3) 介護のための離職の有無

問6 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）。

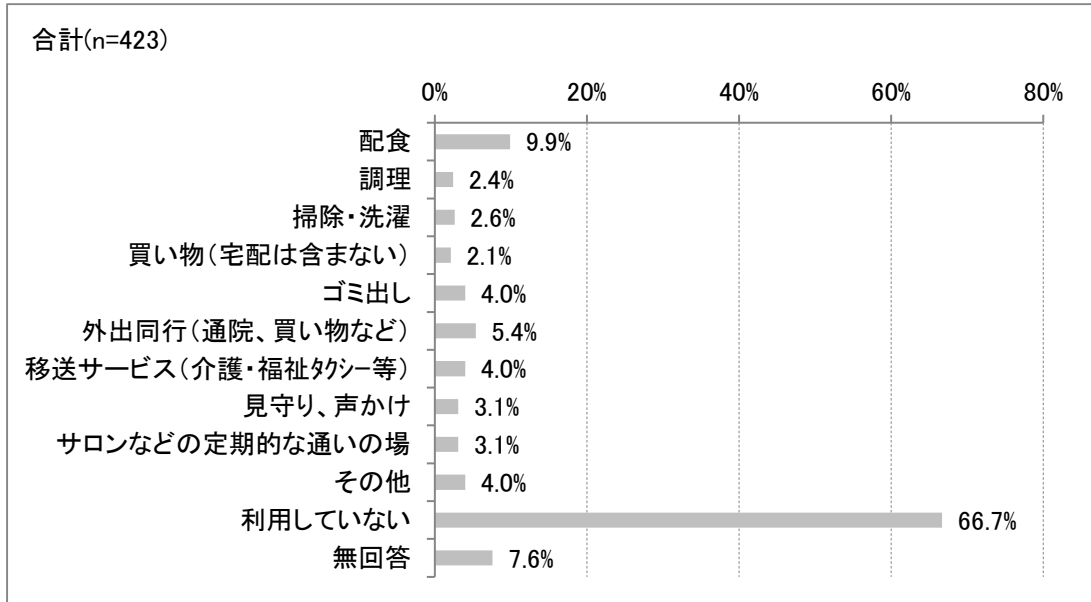
介護のための離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く81.6%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（3.9%）」、「わからない（3.6%）」となっている。



#### (4) 在宅生活とサービスについて

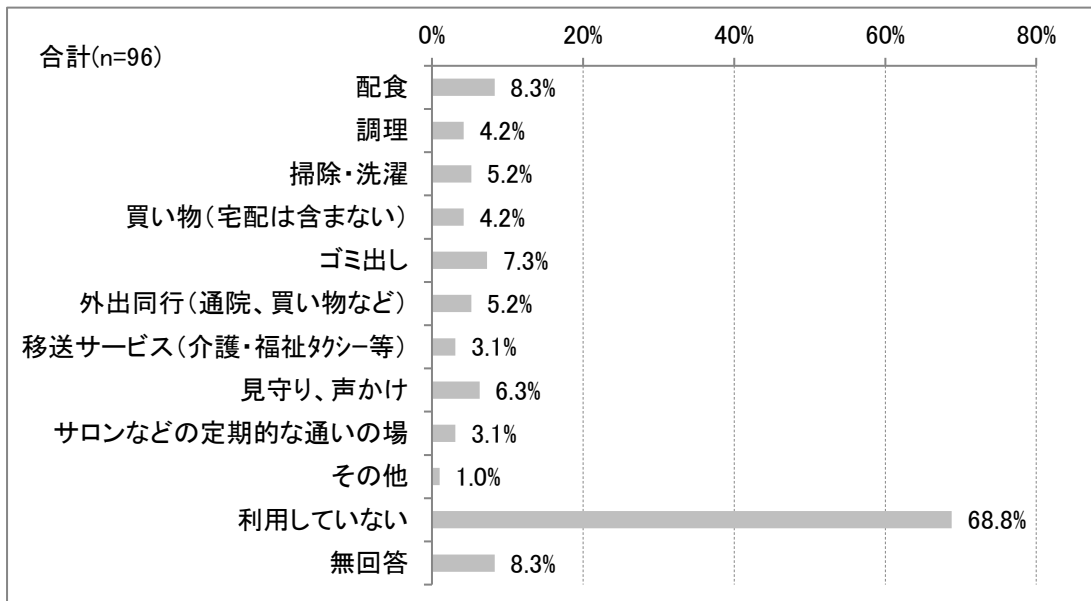
問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）。

保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 66.7%となっている。次いで、「配食（9.9%）」、「外出同行（通院、買い物など）（5.4%）」となっている。



#### ■就労状況別（フルタイム勤務のみ）

就労状況別では、「利用していない」の割合が最も高く 68.8%となっている。次いで、「配食（8.3%）」、「ゴミ出し（7.3%）」となっている。

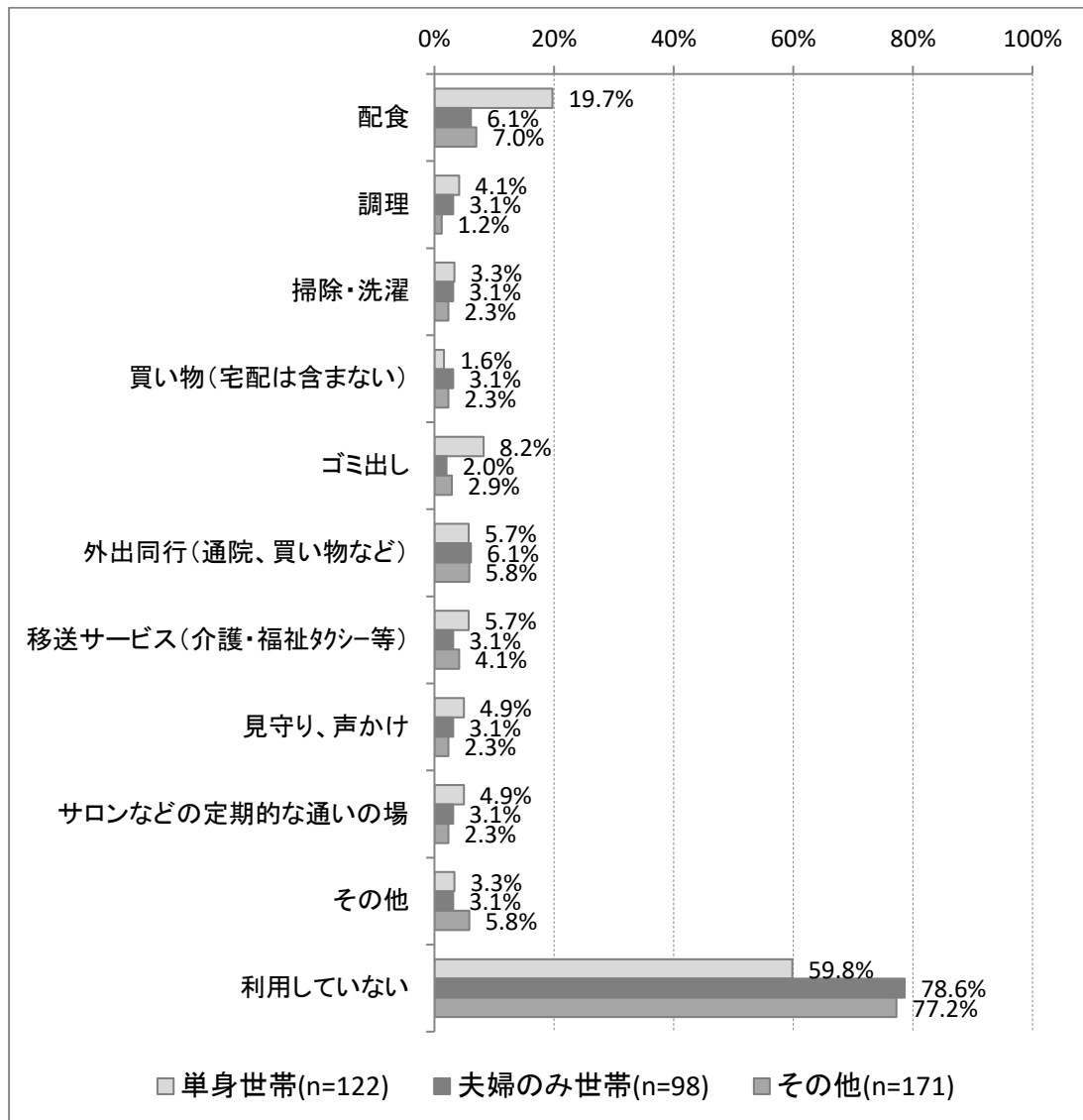


## ■世帯類型別

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が59.8%と最も割合が高く、次いで「配食」が19.7%、「ゴミ出し」が8.2%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が78.6%と最も割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が6.1%、「調理」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が3.1%となっている。

「その他」では「利用していない」が77.2%と最も割合が高く、次いで「配食」が7.0%、「外出同行（通院、買い物など）」、「その他」が5.8%となっている。

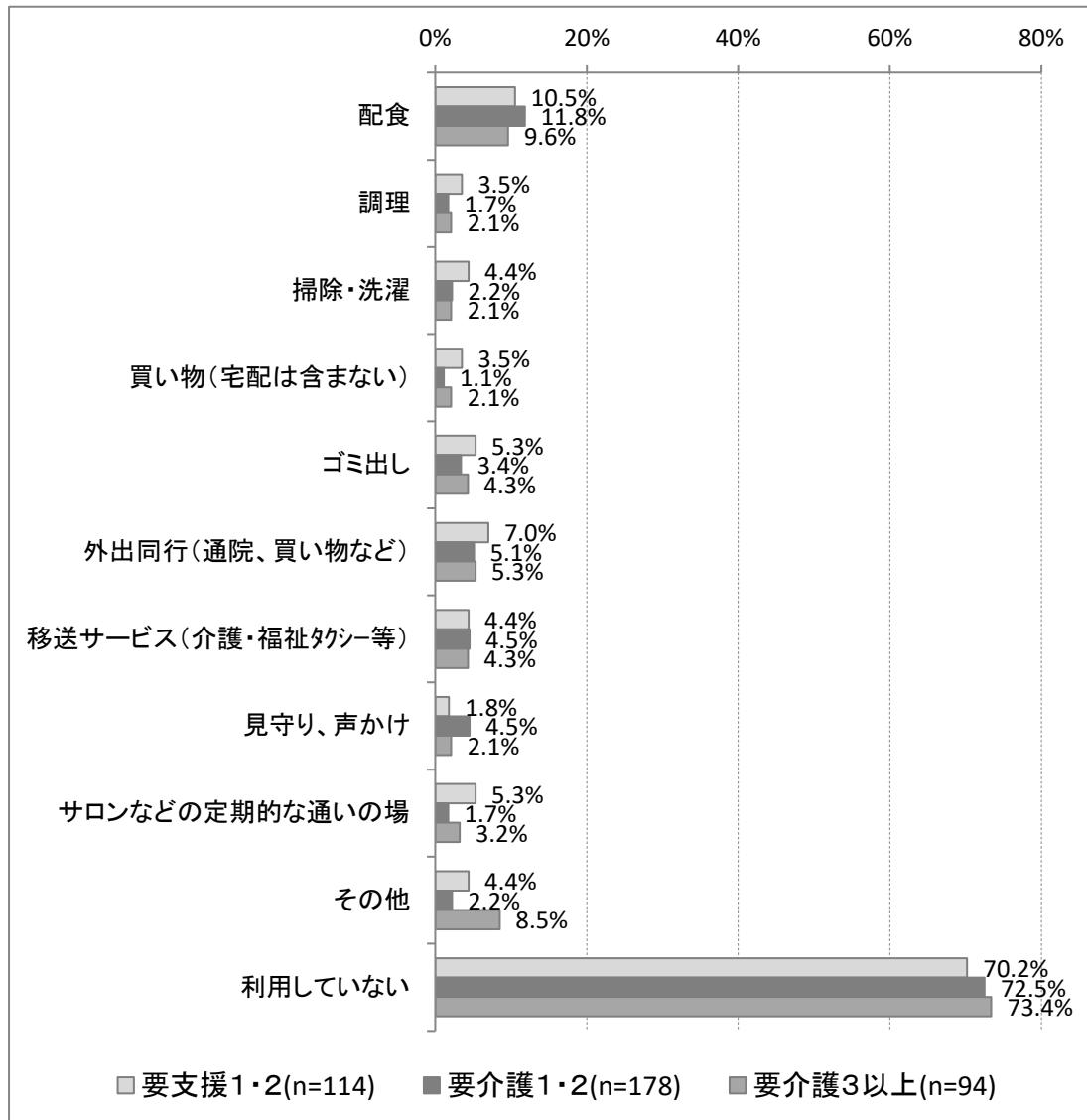


■要介護度別

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が70.2%と最も割合が高く、次いで「配食」が10.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が7.0%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が72.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が11.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が5.1%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が73.4%と最も割合が高く、次いで「配食」が9.6%、「その他」が8.5%となっている。

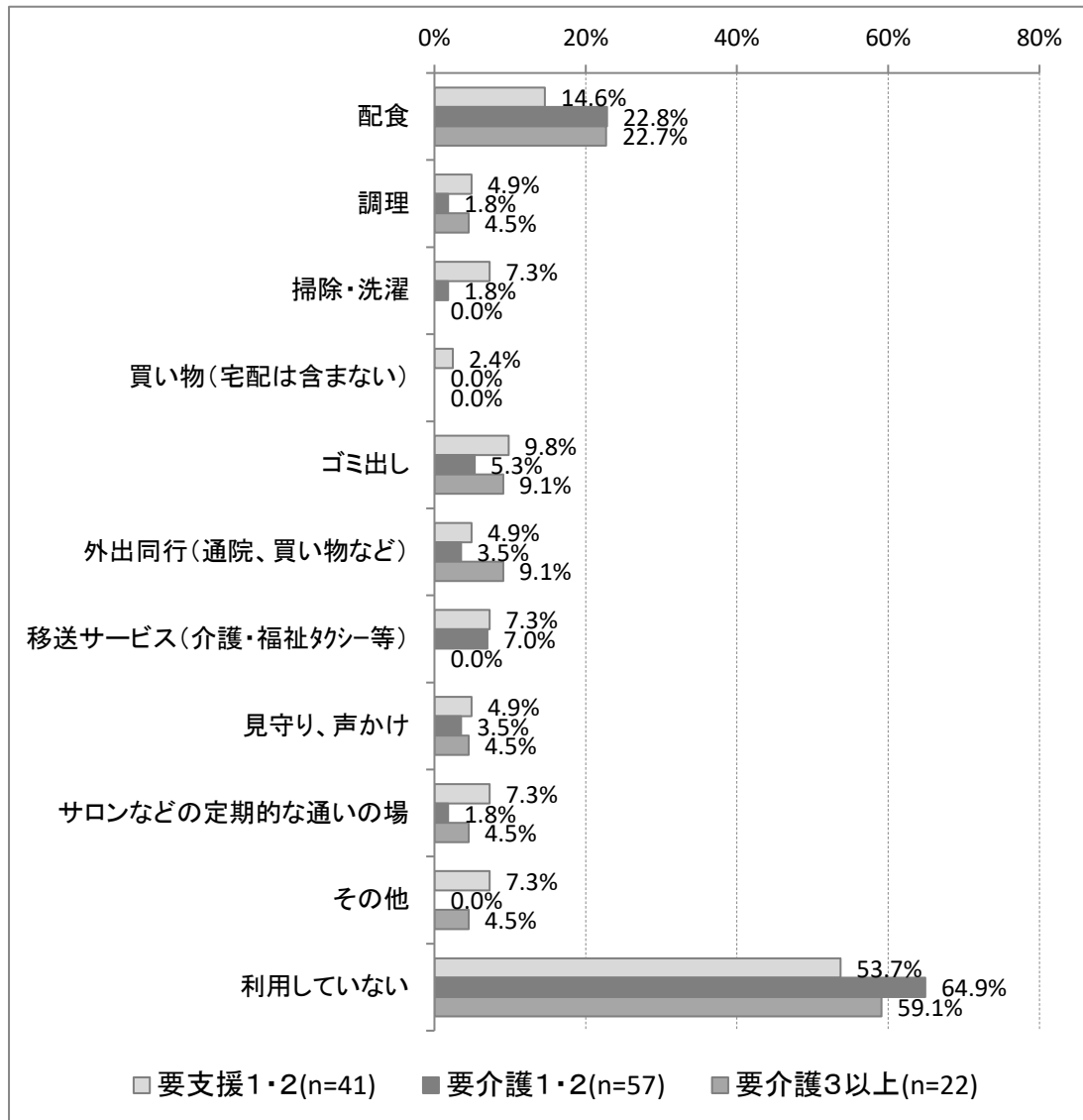


## ■単身世帯・要介護度別

保険外の支援・サービスの利用状況を単身世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が53.7%と最も割合が高く、次いで「配食」が14.6%、「ゴミ出し」が9.8%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が64.9%と最も割合が高く、次いで「配食」が22.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.0%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が59.1%と最も割合が高く、次いで「配食」が22.7%、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が9.1%となっている。

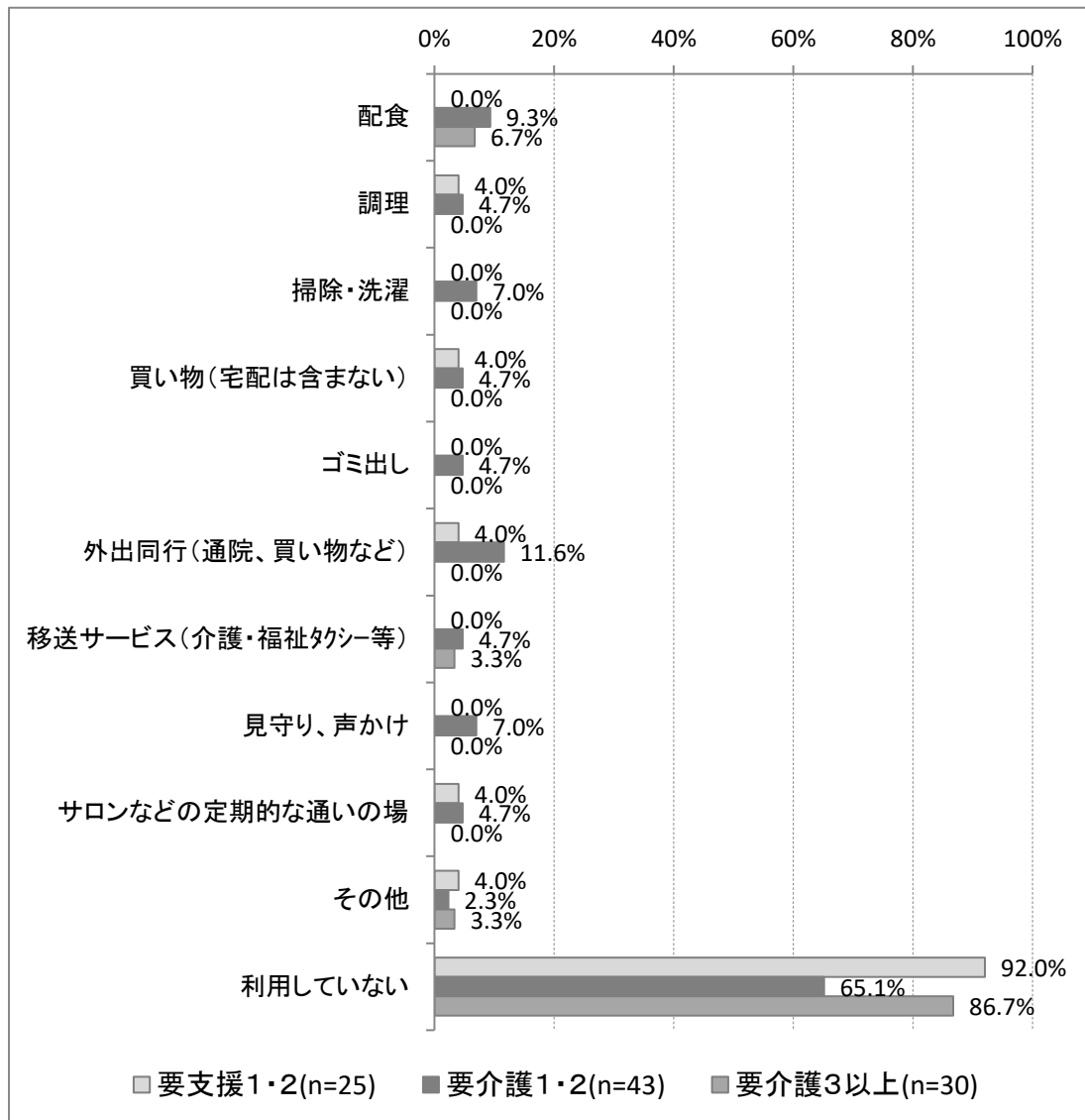


■夫婦のみ世帯・要介護度別

保険外の支援・サービスの利用状況を夫婦のみ世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が92.0%と最も割合が高く、次いで「調理」、「買い物(宅配は含まない)」、「外出同行(通院、買い物など)」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が4.0%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が65.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が11.6%、「配食」が9.3%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が86.7%と最も割合が高く、次いで「配食」が6.7%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「その他」が3.3%となっている。

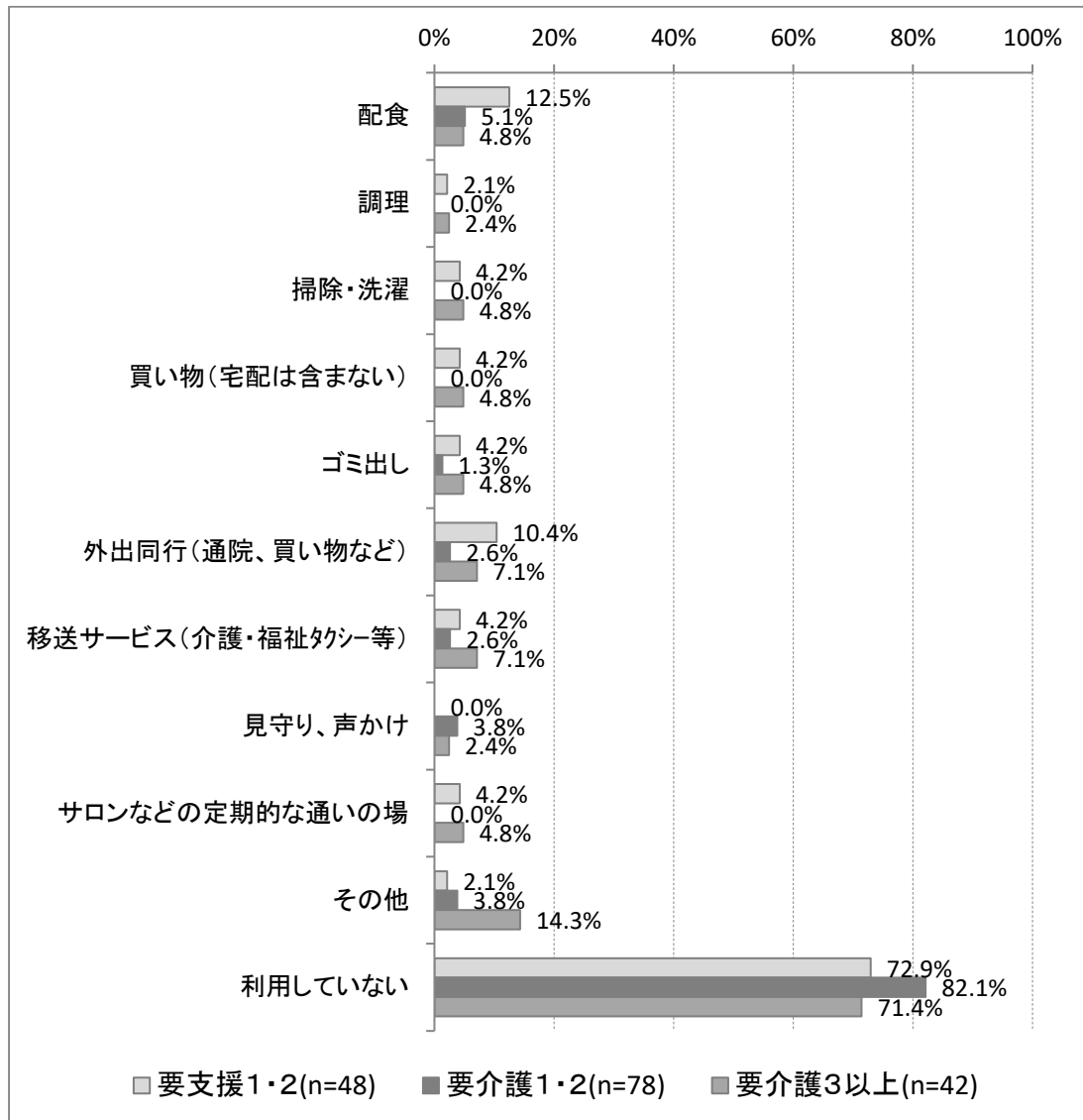


## ■その他世帯・要介護度別

保険外の支援・サービスの利用状況をその他世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が72.9%と最も割合が高く、次いで「配食」が12.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が10.4%となっている。

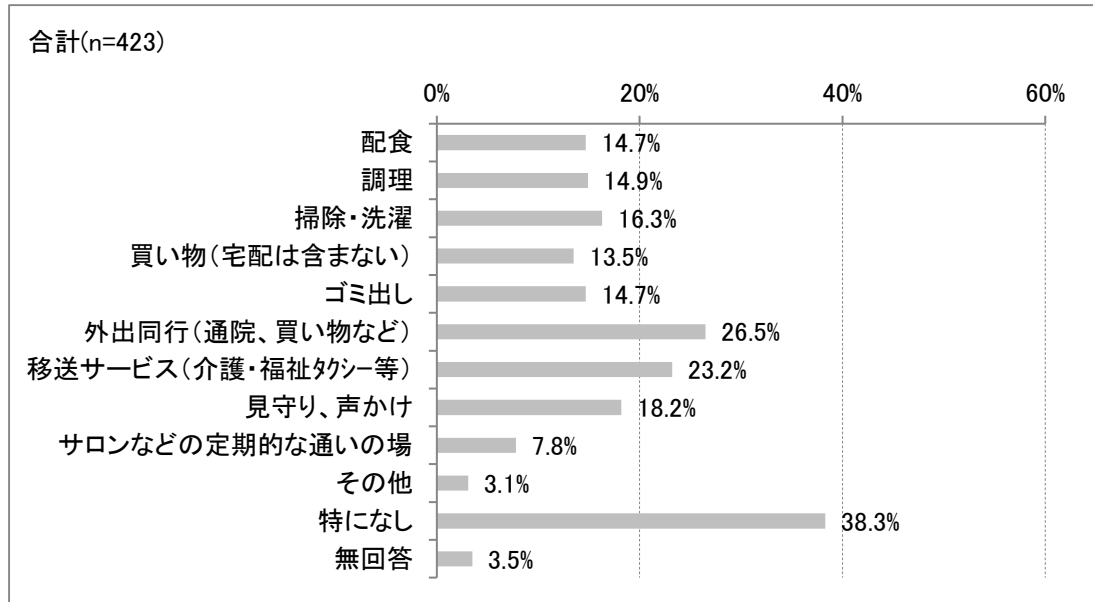
「要介護1・2」では「利用していない」が82.1%と最も割合が高く、次いで「配食」が5.1%、「見守り、声かけ」、「その他」が3.8%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「その他」が14.3%、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.1%となっている。



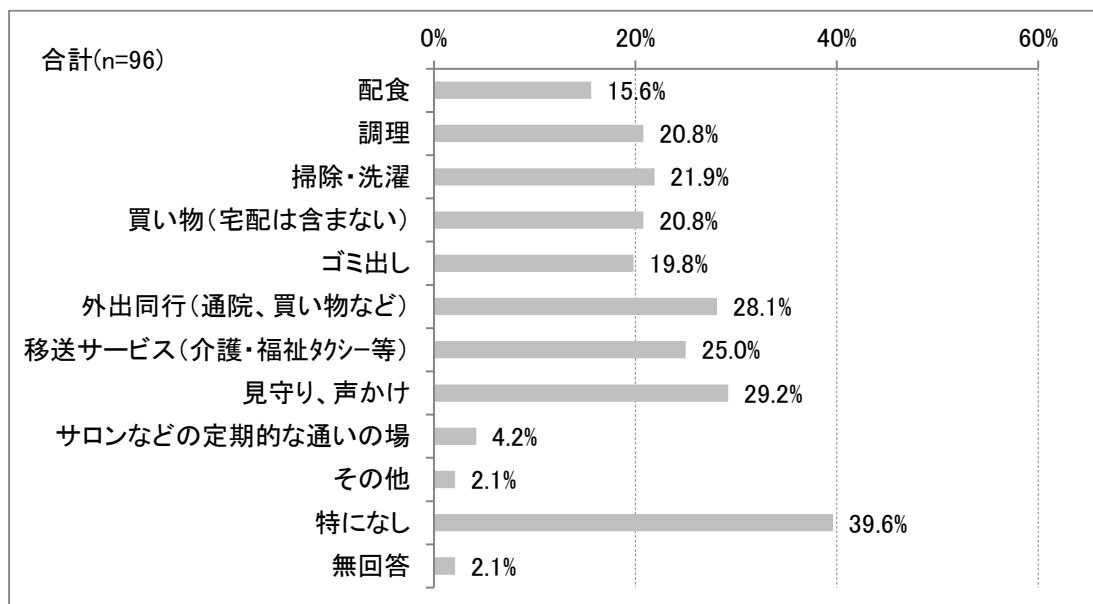
**問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）。**

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」の割合が最も高く 38.3%となっている。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（26.5%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（23.2%）」となっている。



**■就労状況別（フルタイム勤務のみ）**

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを就労状況別にみると、「特になし」の割合が最も高く 39.6%となっている。次いで、「見守り、声かけ（29.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（28.1%）」となっている。

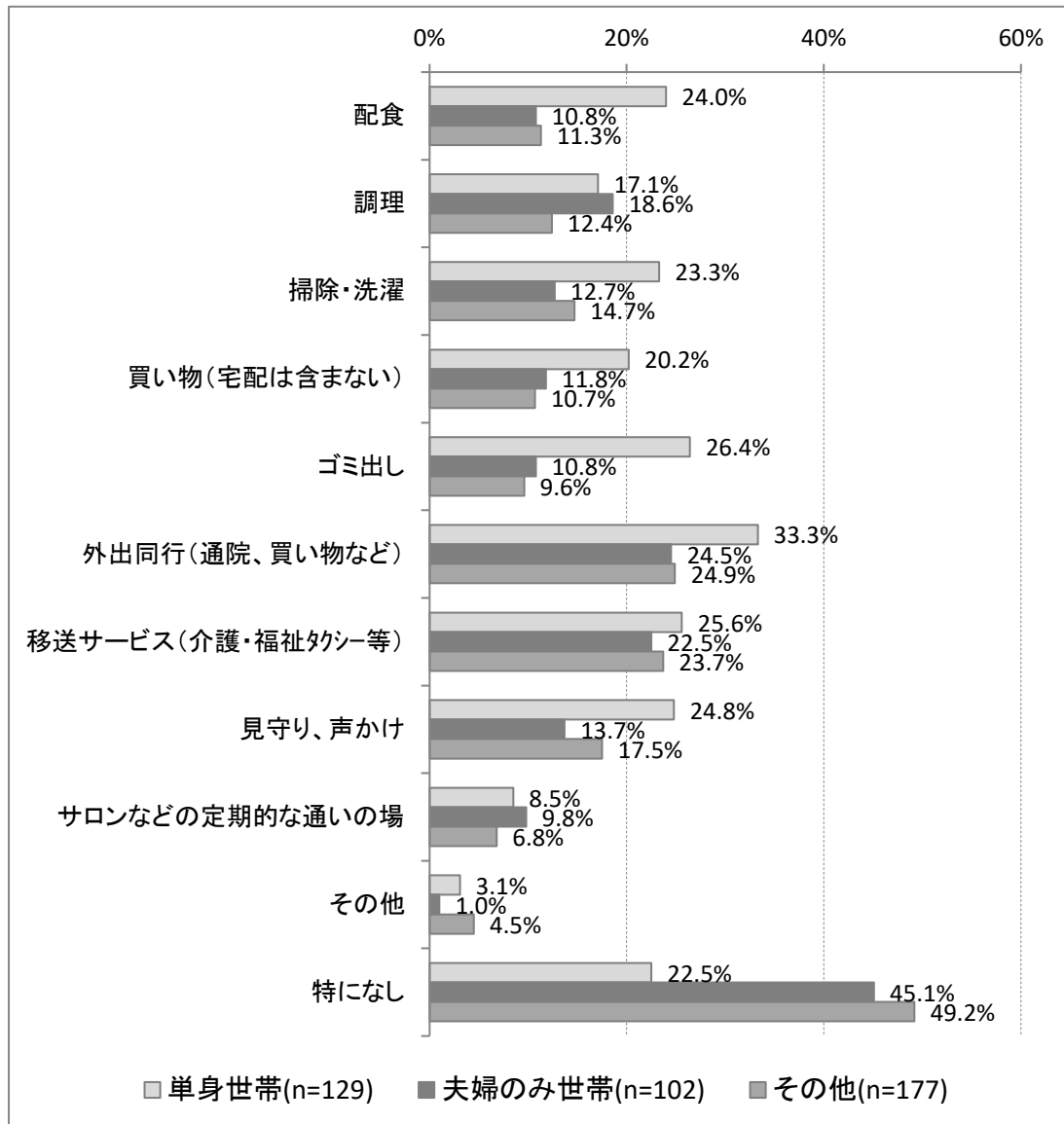


## ■世帯類型別

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを世帯類型別にみると、「単身世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%と最も割合が高く、次いで「ゴミ出し」が26.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.6%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「特になし」が45.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が24.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.5%となっている。

「その他」では「特になし」が49.2%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が24.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.7%となっている。

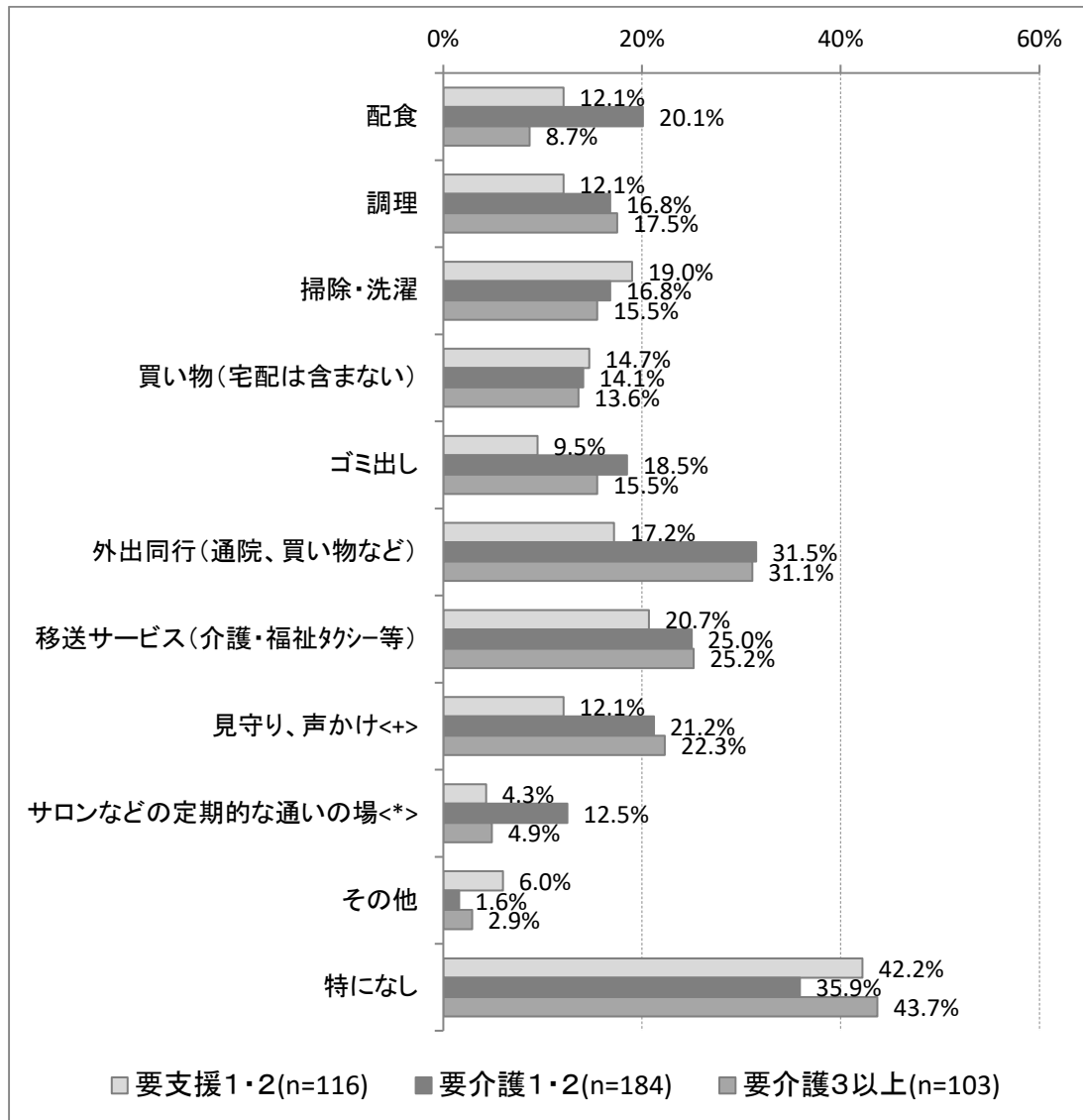


■要介護度別

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が42.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が20.7%、「掃除・洗濯」が19.0%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が35.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が31.5%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.0%となっている。

「要介護3以上」では「特になし」が43.7%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が31.1%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.2%となっている。

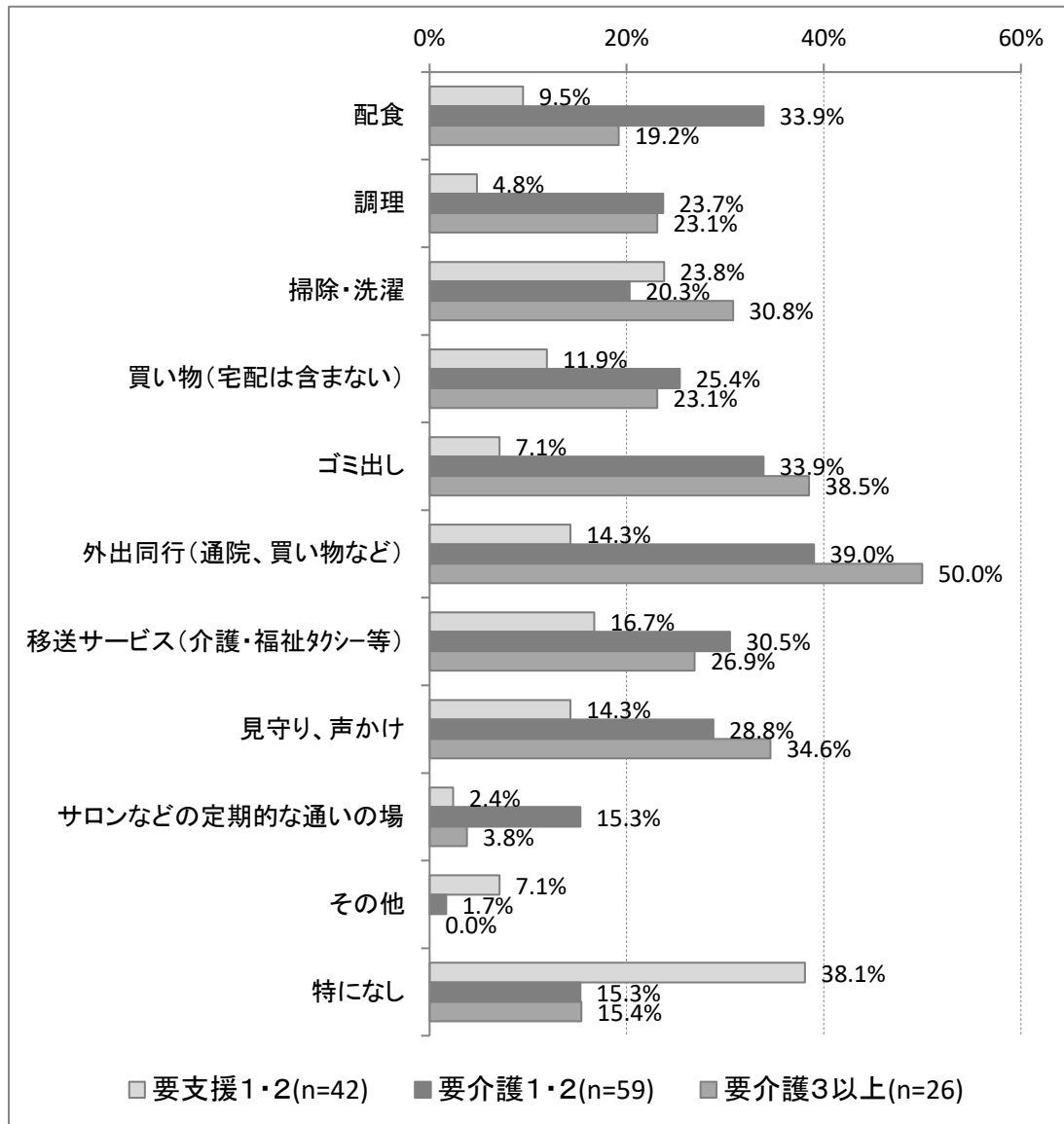


## ■単身世帯・要介護度別

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを単身世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が38.1%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が23.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.7%となっている。

「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が39.0%と最も割合が高く、次いで「配食」、「ゴミ出し」が33.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.5%となっている。

「要介護3以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が50.0%と最も割合が高く、次いで「ゴミ出し」が38.5%、「見守り、声かけ」が34.6%となっている。

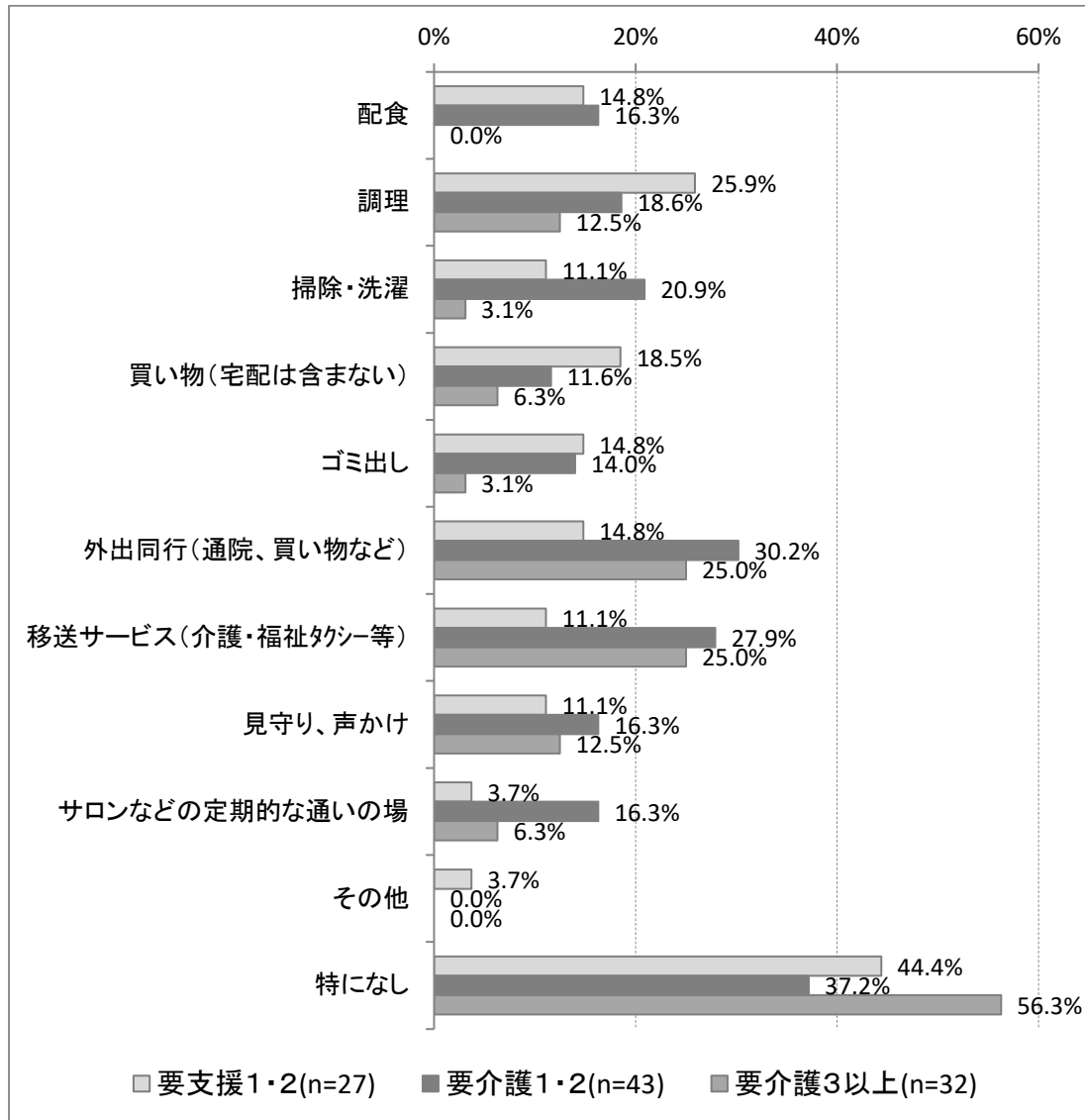


■夫婦のみ世帯・要介護度別

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを夫婦のみ世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が44.4%と最も割合が高く、次いで「調理」が25.9%、「買い物（宅配は含まない）」が18.5%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が37.2%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.9%となっている。

「要介護3以上」では「特になし」が56.3%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.0%、「調理」、「見守り、声かけ」が12.5%となっている。

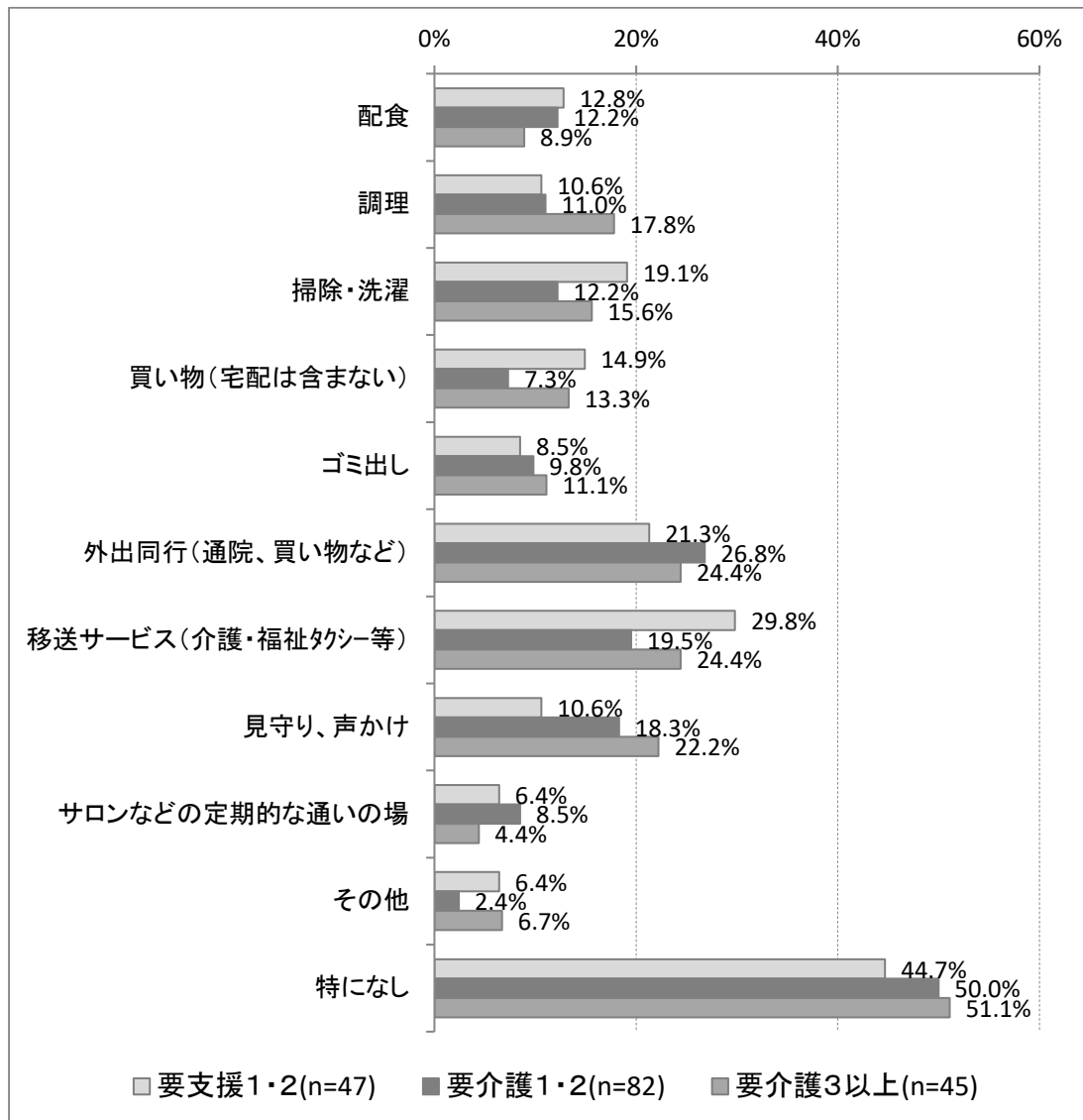


## ■その他世帯・要介護度別

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをその他世帯の二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が44.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.3%となっている。

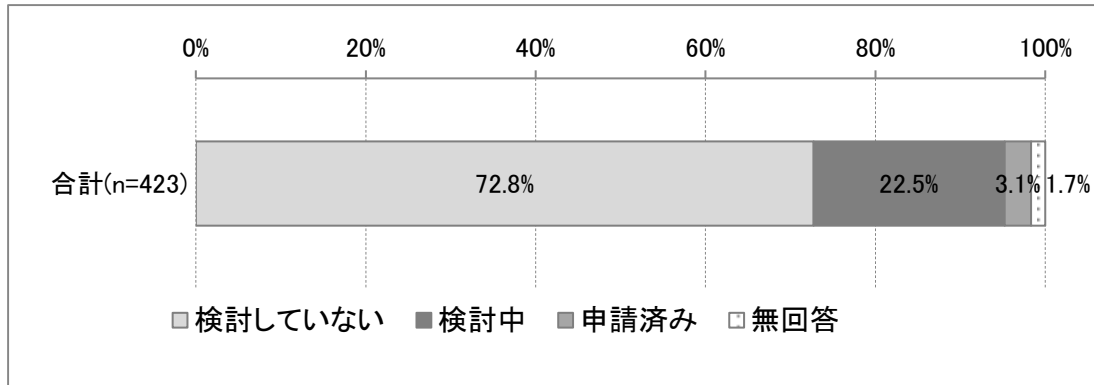
「要介護1・2」では「特になし」が50.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が26.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.5%となっている。

「要介護3以上」では「特になし」が51.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.4%、「見守り、声かけ」が22.2%となっている。



**問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに☑）。**

施設等の検討状況は、「検討していない」の割合が最も高く72.8%となっている。次いで、「検討中（22.5%）」、「申請済み（3.1%）」となっている。

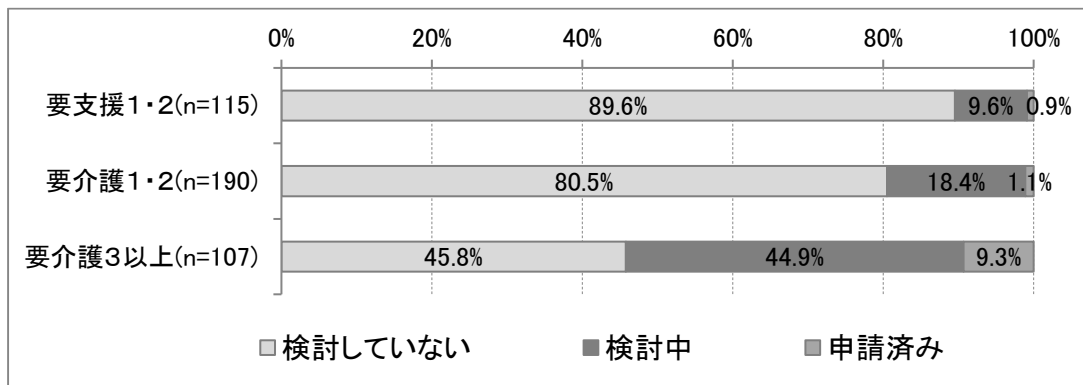


**■要介護度別**

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が89.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.6%、「申請済み」が0.9%となっている。

「要介護1・2」では「検討していない」が80.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.4%、「申請済み」が1.1%となっている。

「要介護3以上」では「検討していない」が45.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が44.9%、「申請済み」が9.3%となっている。

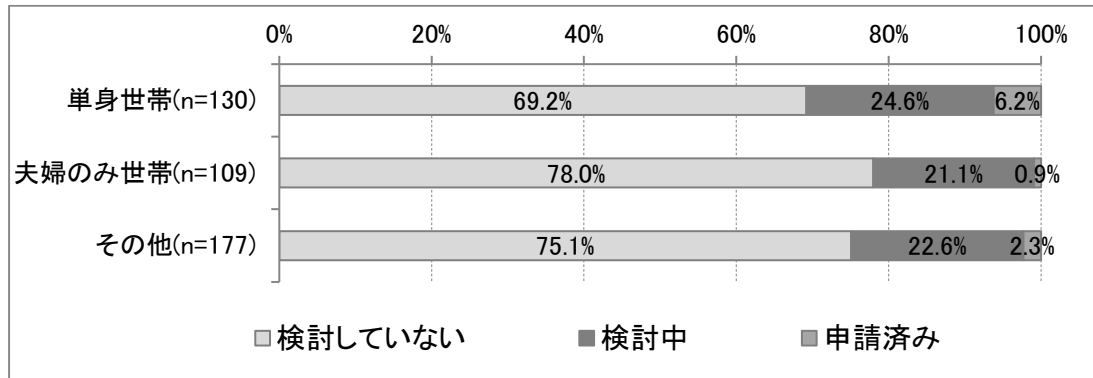


## ■世帯類型別

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が69.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.6%、「申請済み」が6.2%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が78.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.1%、「申請済み」が0.9%となっている。

「その他」では「検討していない」が75.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.6%、「申請済み」が2.3%となっている。

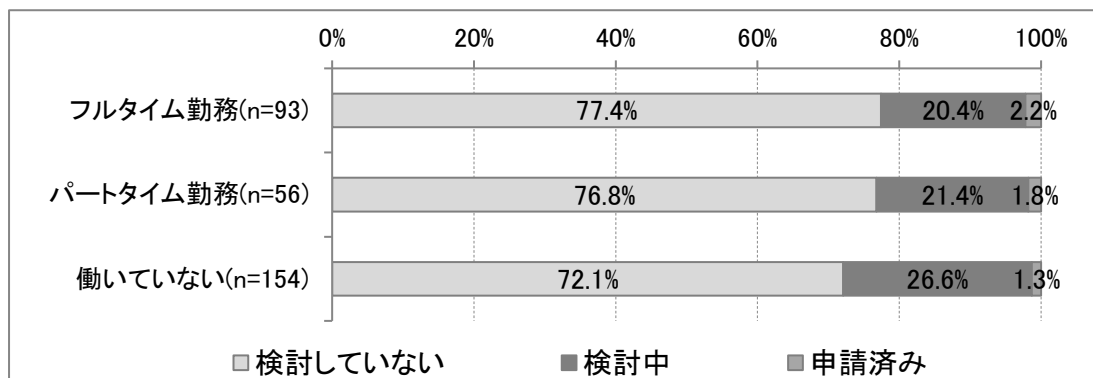


## ■就労状況別

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が77.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.4%、「申請済み」が2.2%となっている。

「パートタイム勤務」では「検討していない」が76.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.4%、「申請済み」が1.8%となっている。

「働いていない」では「検討していない」が72.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.6%、「申請済み」が1.3%となっている。

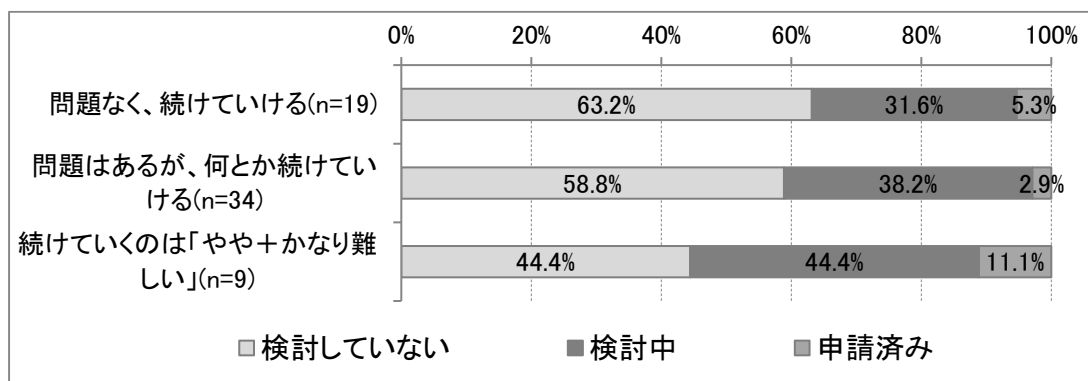


### ■就労継続見込み別

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が63.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が31.6%、「申請済み」が5.3%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が58.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が38.2%、「申請済み」が2.9%となっている。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「検討していない」、「検討中」が44.4%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が11.1%となっている。

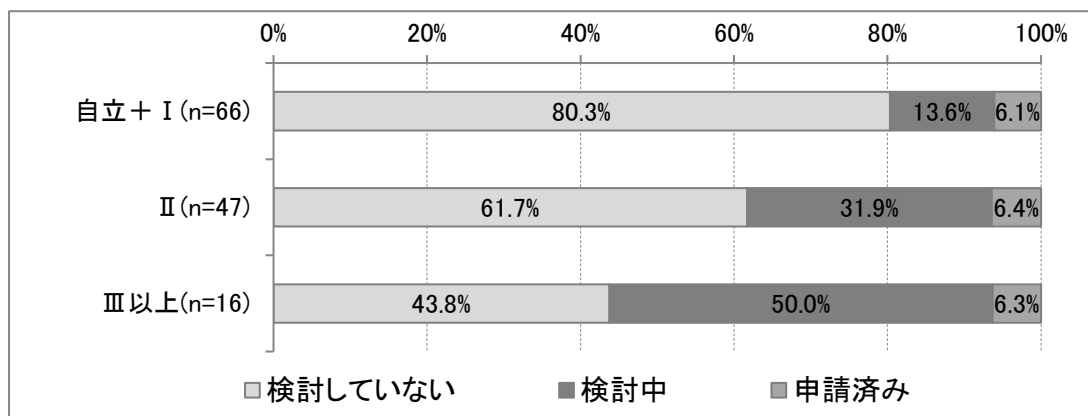


### ■単身世帯・認知症自立度別

施設等の検討状況を単身世帯の認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が80.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.6%、「申請済み」が6.1%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が61.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が31.9%、「申請済み」が6.4%となっている。

「Ⅲ以上」では「検討中」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が43.8%、「申請済み」が6.3%となっている。

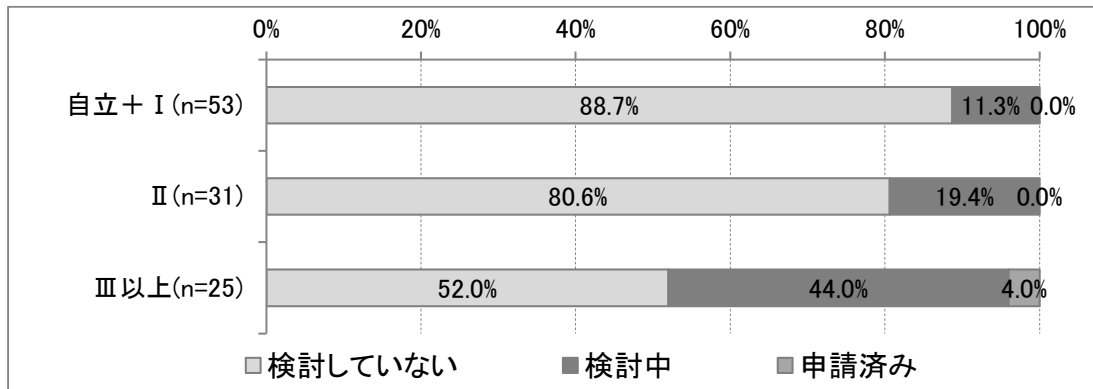


### ■夫婦のみ世帯・認知症自立度別

施設等の検討状況を夫婦のみ世帯の認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が88.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が80.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が19.4%、「申請済み」が0.0%となっている。

「Ⅲ以上」では「検討していない」が52.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が44.0%、「申請済み」が4.0%となっている。

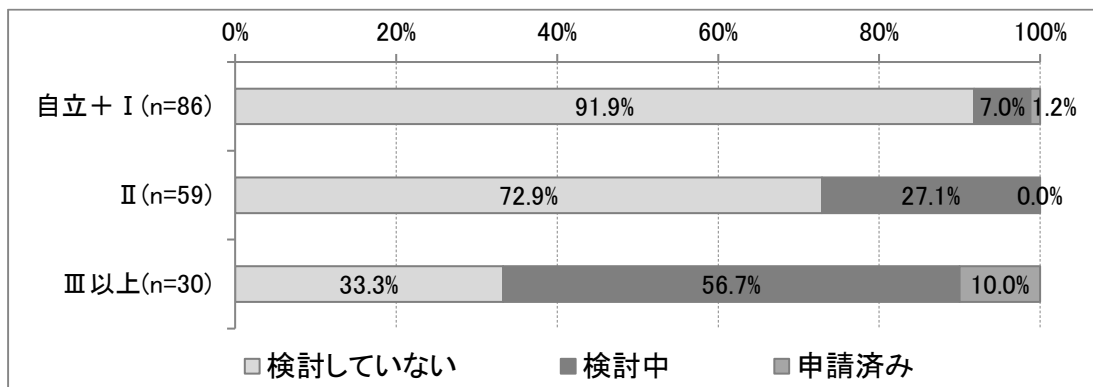


### ■その他世帯・認知症自立度別

施設等の検討状況をその他世帯の認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が91.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が7.0%、「申請済み」が1.2%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が72.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.1%、「申請済み」が0.0%となっている。

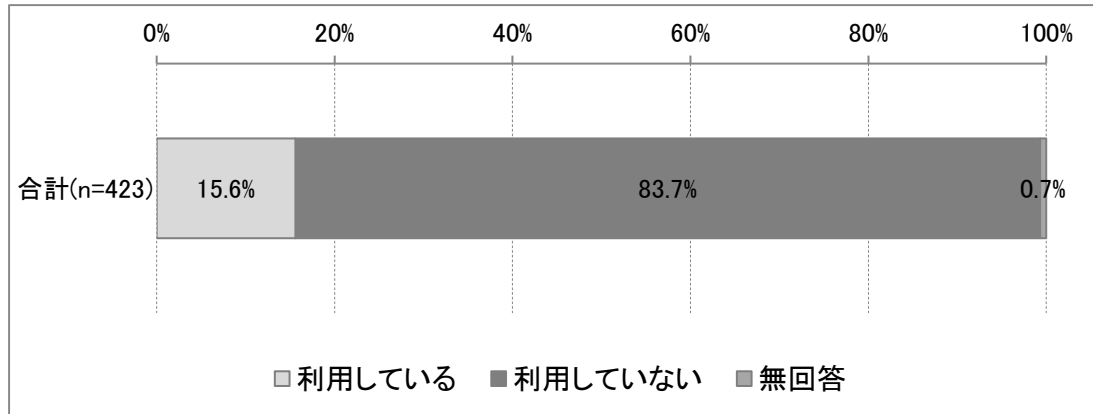
「Ⅲ以上」では「検討中」が56.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「申請済み」が10.0%となっている。



### (5) 訪問診療の利用の有無

問 10 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに☑）。

訪問診療の利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 83.7%となっている。次いで、「利用している（15.6%）」となっている。

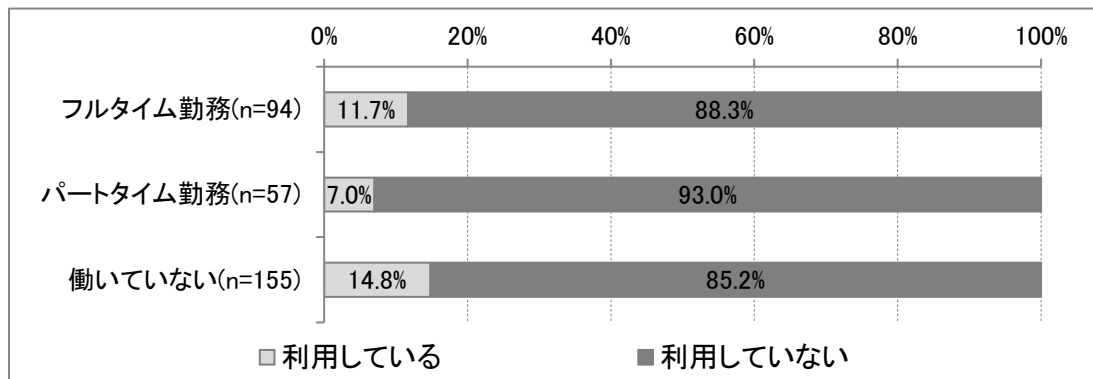


#### ■就労状況別

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 11.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「利用している」が 7.0%となっている。

「働いていない」では「利用している」が 14.8%となっている。

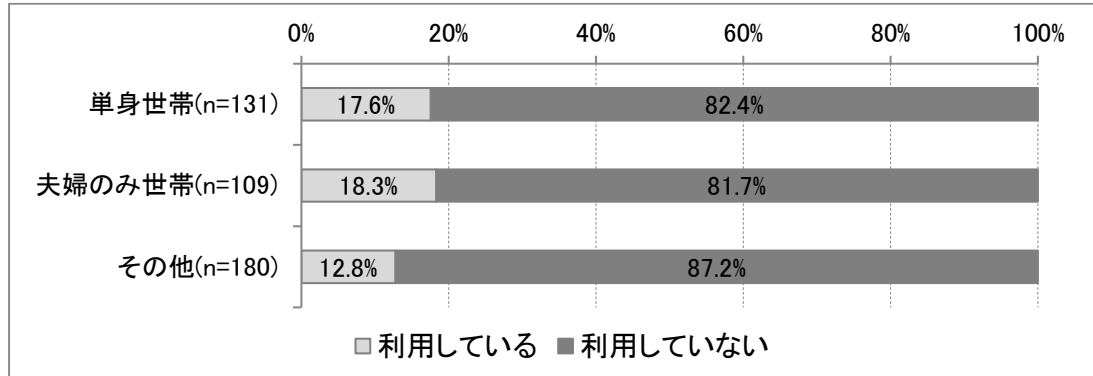


## ■世帯類型別

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用している」が17.6%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「利用している」が18.3%となっている。

「その他」では「利用している」が12.8%となっている。



## ■要介護度別

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用している」が1.7%となっている。

「要支援2」では「利用している」が5.3%となっている。

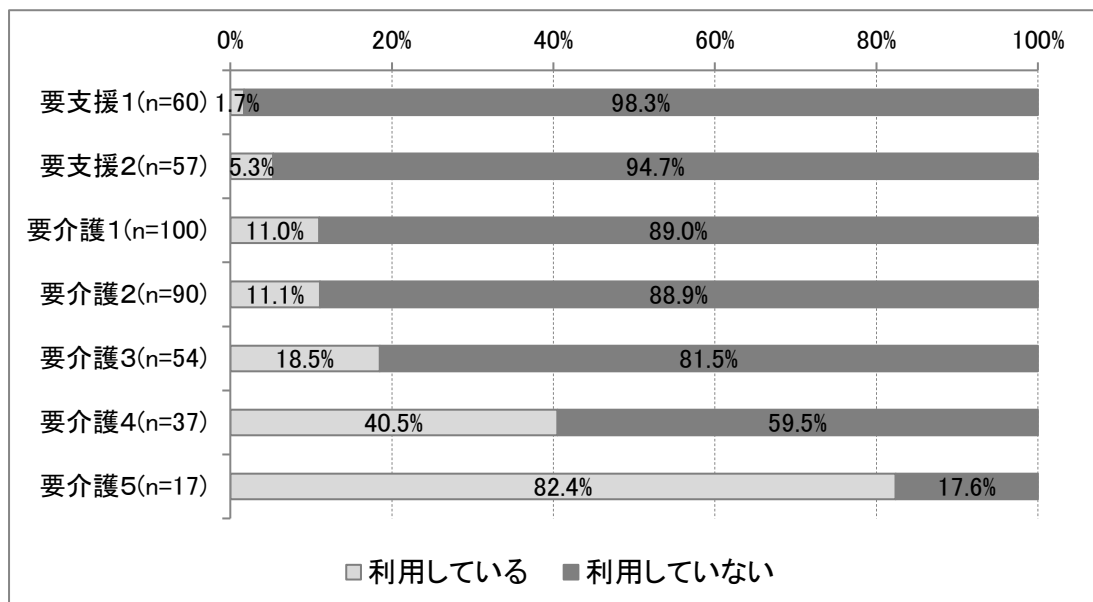
「要介護1」では「利用している」が11.0%となっている。

「要介護2」では「利用している」が11.1%となっている。

「要介護3」では「利用している」が18.5%となっている。

「要介護4」では「利用している」が40.5%となっている。

「要介護5」では「利用していない」が17.6%となっている。

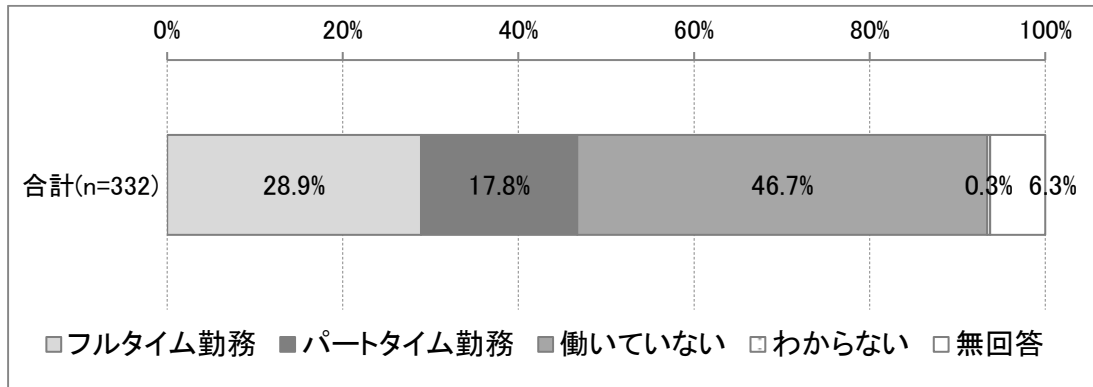


## (6) 介護者と就労継続

●問 11 以降は問 2 で「家族・親族の介護はあるが、週に 1 日より少ない」「週に 1～2 日ある」「週に 3～4 日ある」「ほぼ毎日ある」に回答した方にお伺いします。

問 11 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1 つに☑）。

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」の割合が最も高く 46.7%となっている。次いで、「フルタイム勤務（28.9%）」、「パートタイム勤務（17.8%）」となっている。

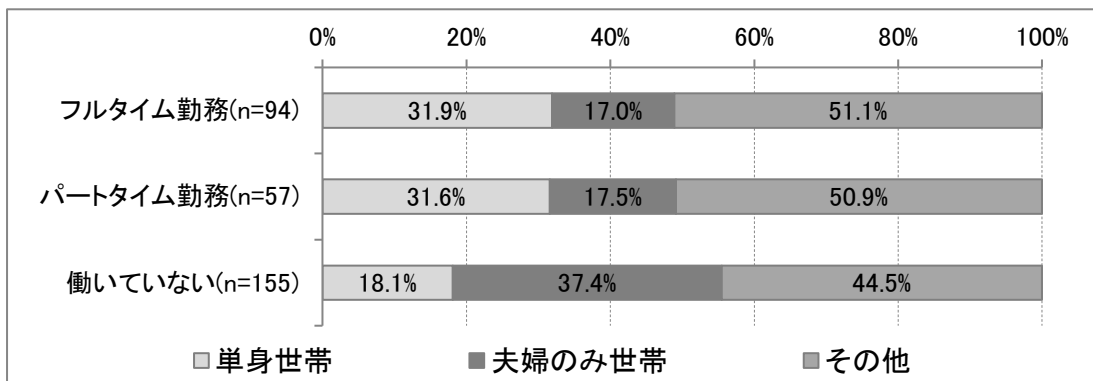


### ■世帯類型

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が 51.1%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 31.9%、「夫婦のみ世帯」が 17.0%となっている。

「パートタイム勤務」では「その他」が 50.9%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 31.6%、「夫婦のみ世帯」が 17.5%となっている。

「働いていない」では「その他」が 44.5%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 37.4%、「単身世帯」が 18.1%となっている。

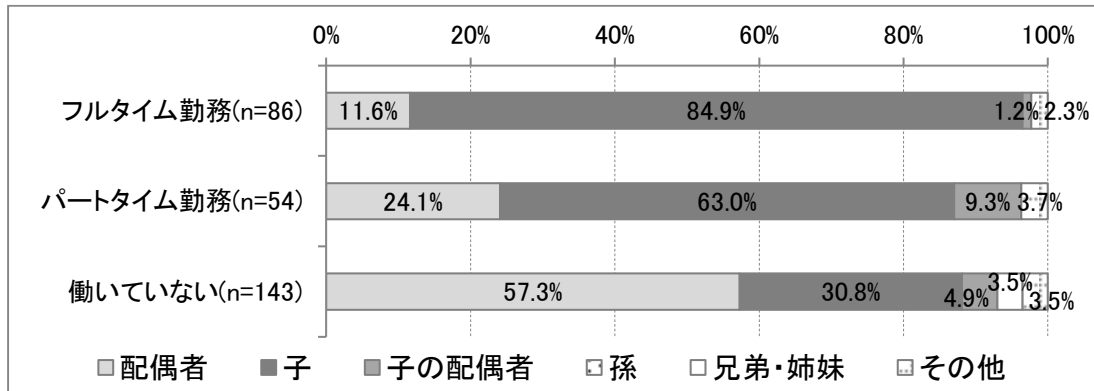


### ■主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が84.9%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が11.6%、「その他」が2.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「子」が63.0%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が24.1%、「子の配偶者」が9.3%となっている。

「働いていない」では「配偶者」が57.3%と最も割合が高く、次いで「子」が30.8%、「子の配偶者」が4.9%となっている。

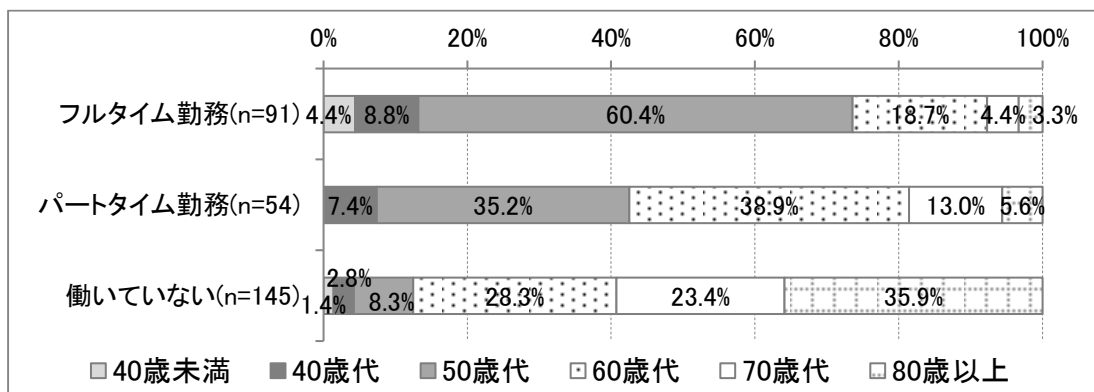


### ■主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が60.4%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が18.7%、「40歳代」が8.8%となっている。

「パートタイム勤務」では「60歳代」が38.9%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が35.2%、「70歳代」が13.0%となっている。

「働いていない」では「80歳以上」が35.9%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が28.3%、「70歳代」が23.4%となっている。

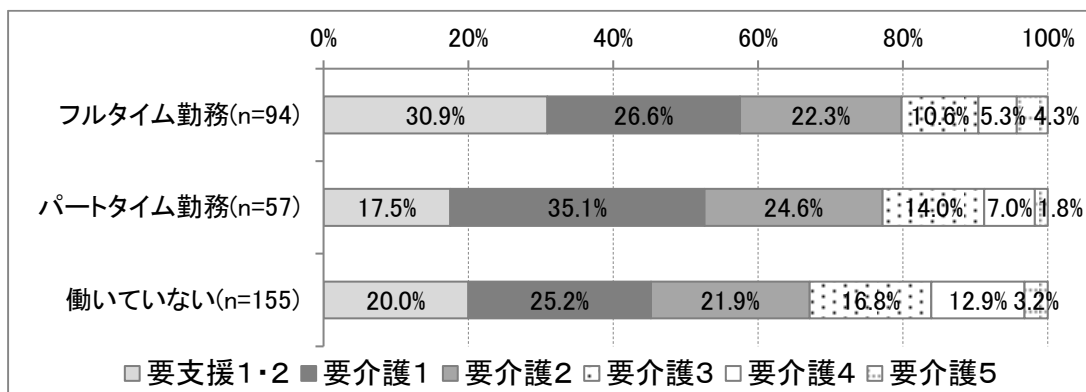


### ■要介護度

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援1・2」が30.9%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が26.6%、「要介護2」が22.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「要介護1」が35.1%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が24.6%、「要支援1・2」が17.5%となっている。

「働いていない」では「要介護1」が25.2%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が21.9%、「要支援1・2」が20.0%となっている。

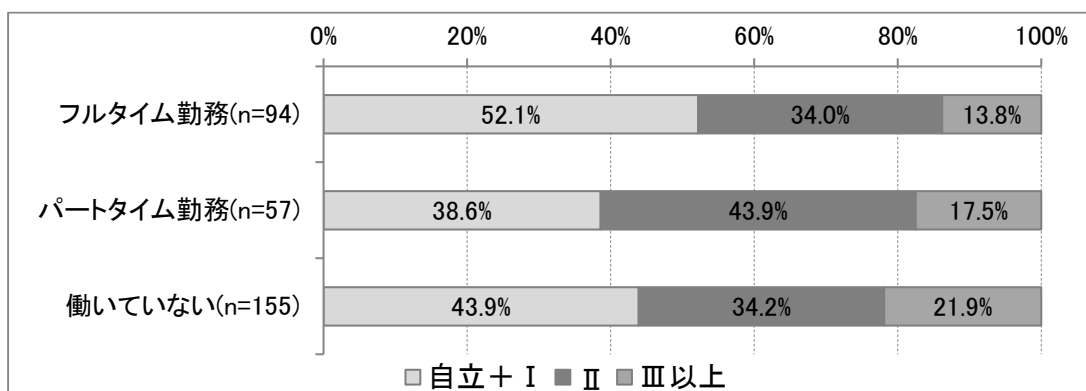


### ■認知症自立度

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が52.1%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が34.0%、「Ⅲ以上」が13.8%となっている。

「パートタイム勤務」では「Ⅱ」が43.9%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が38.6%、「Ⅲ以上」が17.5%となっている。

「働いていない」では「自立+Ⅰ」が43.9%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が34.2%、「Ⅲ以上」が21.9%となっている。

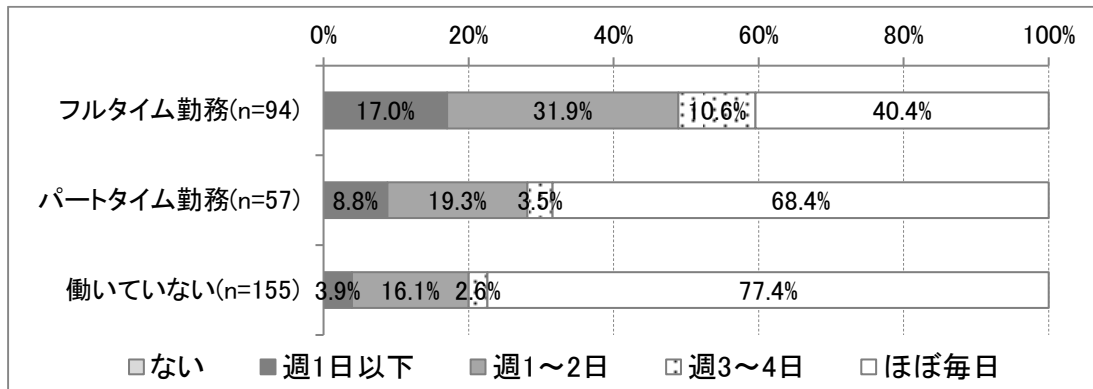


■家族等による介護の頻度

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が40.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が31.9%、「週1日以下」が17.0%となっている。

「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が68.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が19.3%、「週1日以下」が8.8%となっている。

「働いていない」では「ほぼ毎日」が77.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が16.1%、「週1日以下」が3.9%となっている。

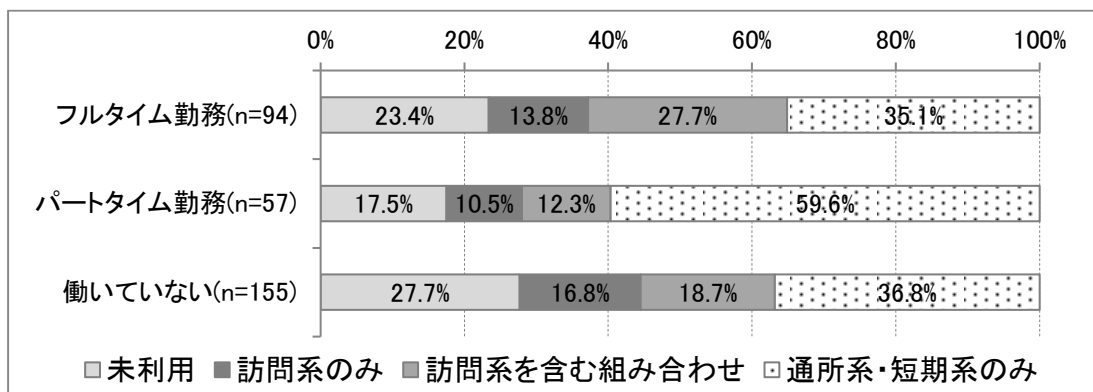


■サービス利用の組み合わせ別

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が35.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.7%、「未利用」が23.4%となっている。

「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が59.6%と最も割合が高く、次いで「未利用」が17.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が12.3%となっている。

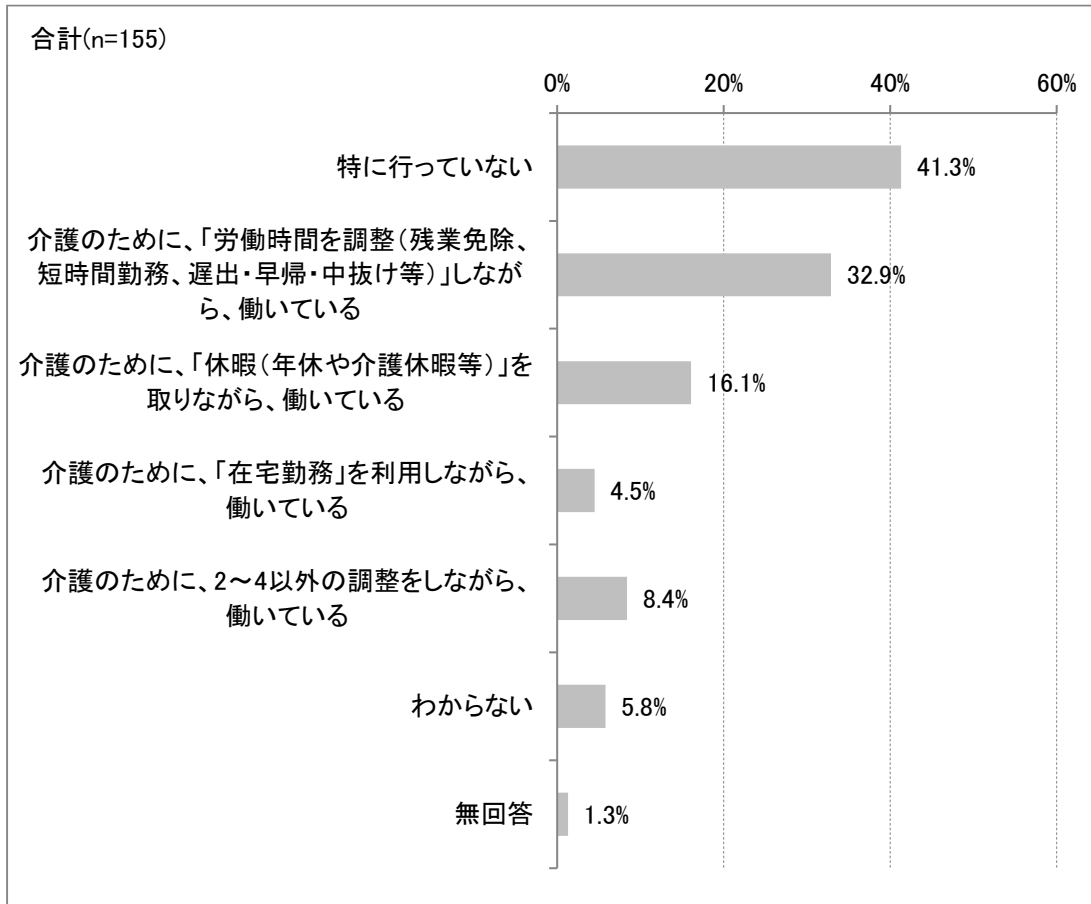
「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が36.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が18.7%となっている。



問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問 12 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）。

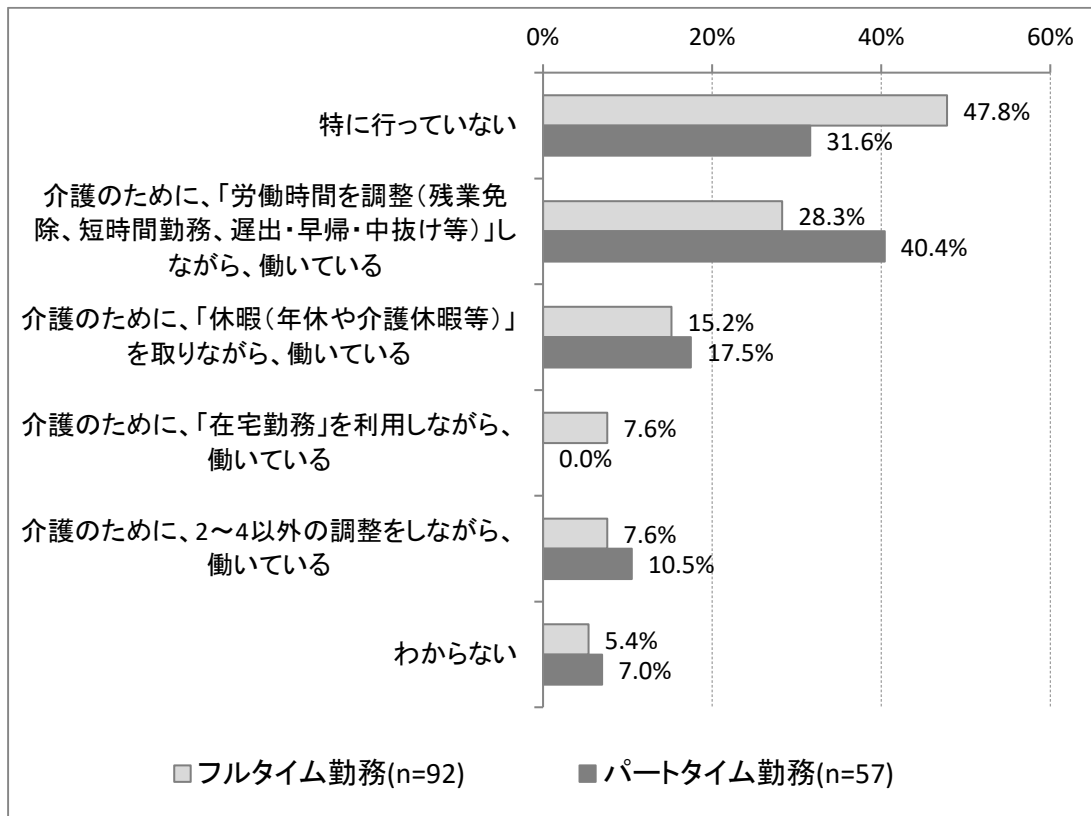
主な介護者の働き方の調整状況は、「特に行っていない」の割合が最も高く 41.3%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（32.9%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（16.1%）」となっている。



## ■就労状況別

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が47.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が28.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.2%となっている。

「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.4%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が31.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が17.5%となっている。

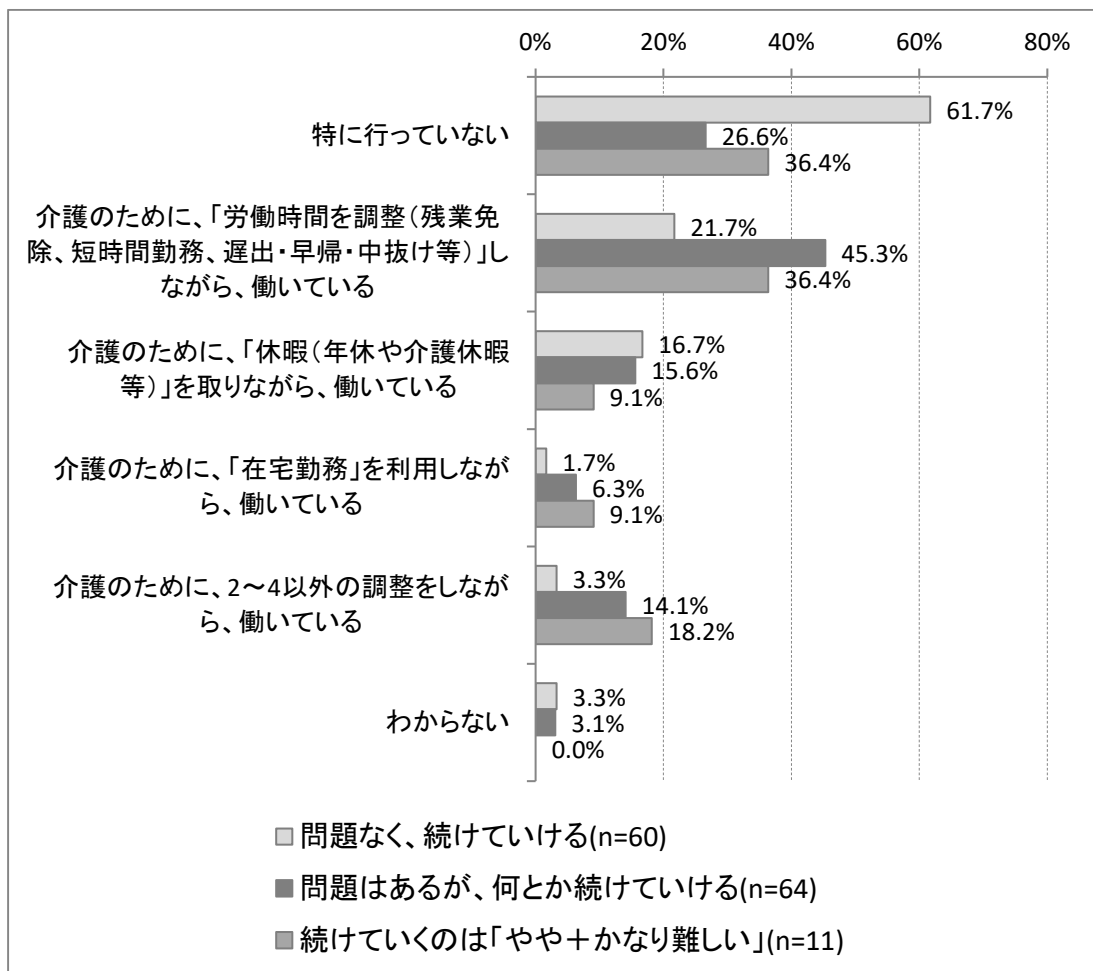


■就労継続見込み別

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が61.7%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が21.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が16.7%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が45.3%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が26.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.6%となっている。

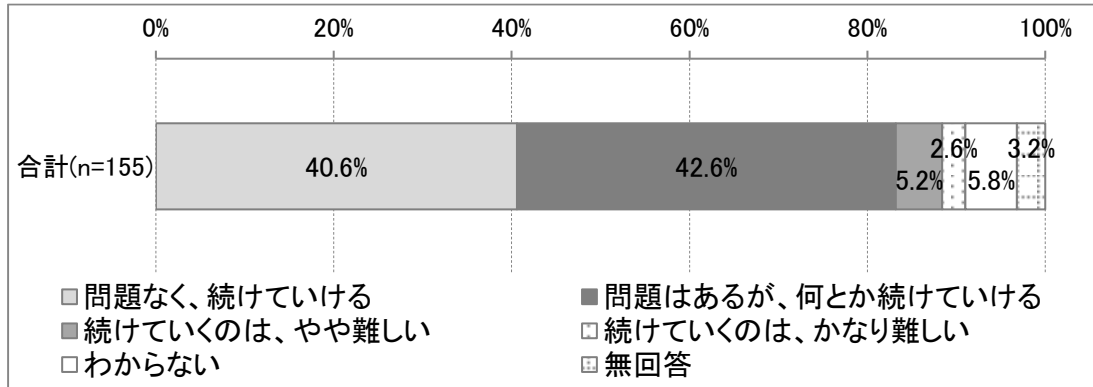
「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.4%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が18.2%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が9.1%となっている。



問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問 13 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに☑）。

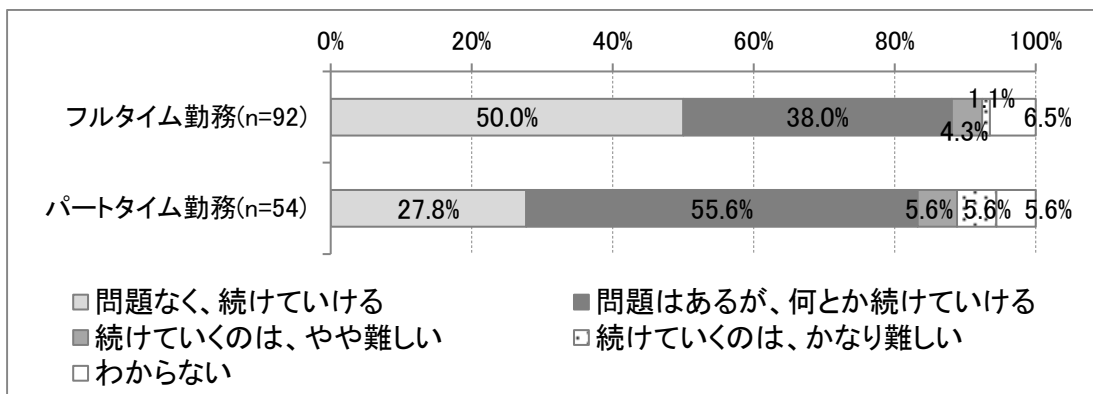
介護者の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く42.6%となっている。次いで、「問題なく、続けていける（40.6%）」、「わからない（5.8%）」となっている。



### ■就労状況別

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題なく、続けていける」が50.0%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が38.0%、「わからない」が6.5%となっている。

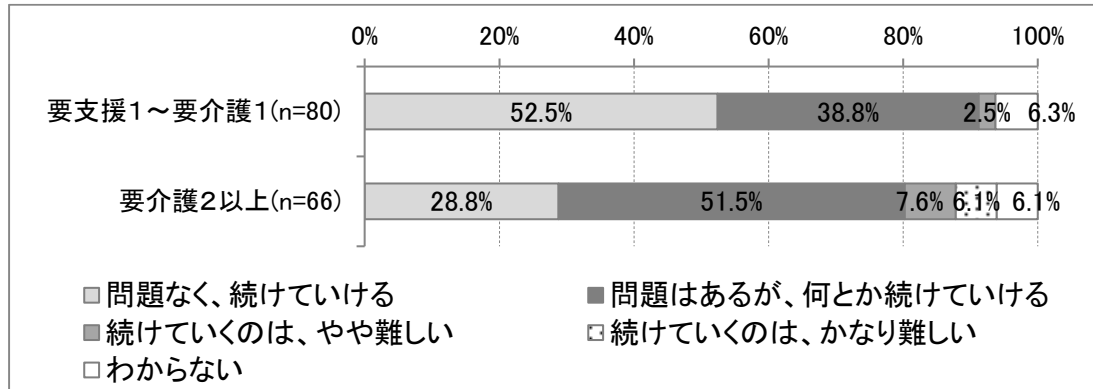
「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が55.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.8%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が5.6%となっている。



### ■要介護度別

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題なく、続けていける」が52.5%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が38.8%、「わからない」が6.3%となっている。

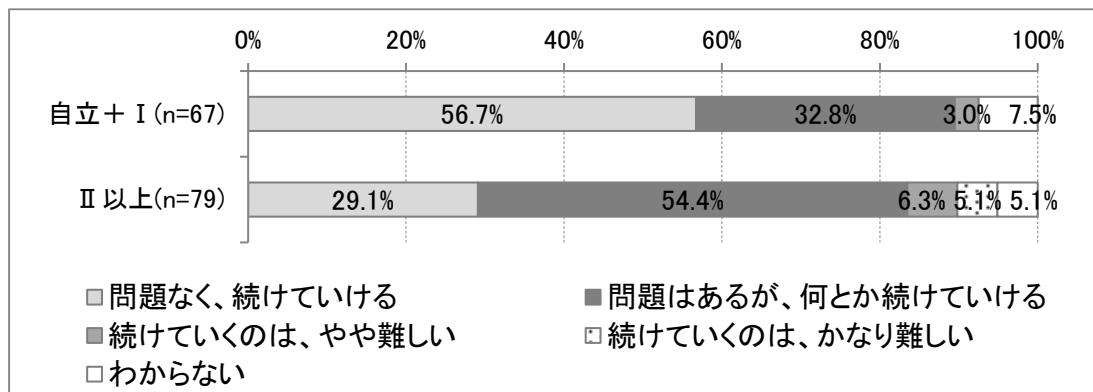
「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が51.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が28.8%、「続けていくのは、やや難しい」が7.6%となっている。



### ■認知症自立度別

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「問題なく、続けていける」が56.7%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が32.8%、「わからない」が7.5%となっている。

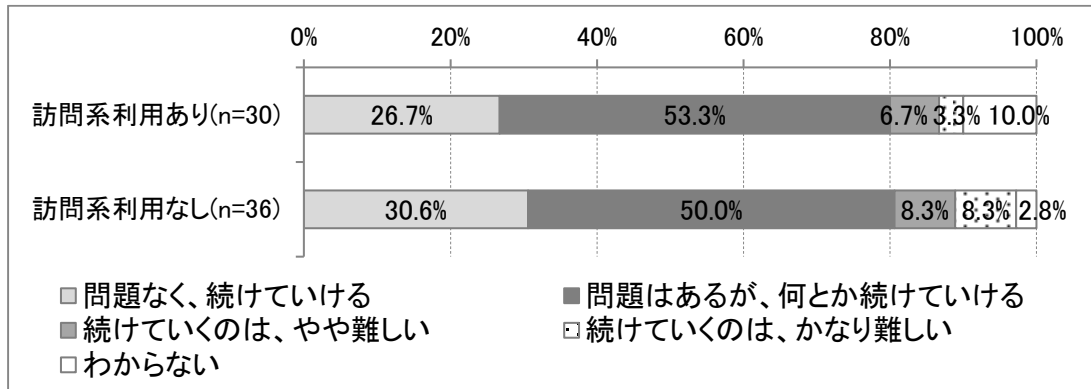
「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が54.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が29.1%、「続けていくのは、やや難しい」が6.3%となっている。



### ■サービス利用の組み合わせ別（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務のみ）

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が53.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が26.7%、「わからない」が10.0%となっている。

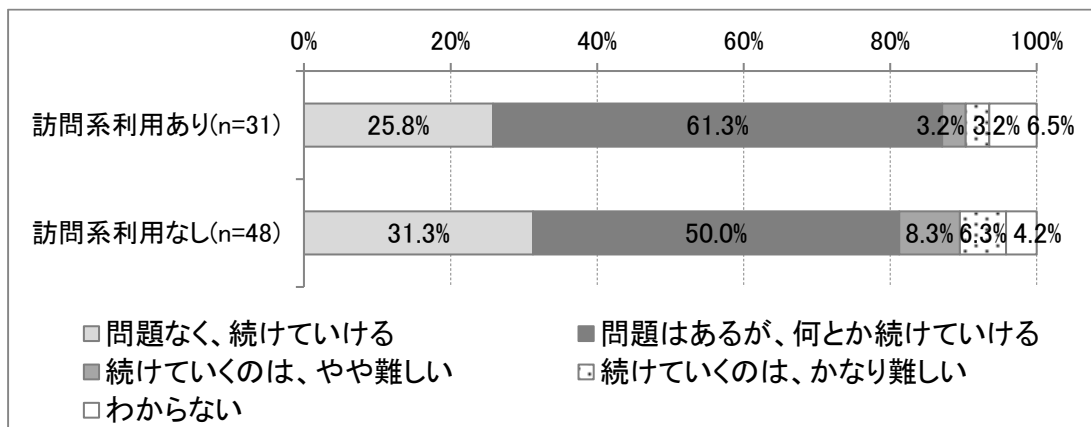
「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が50.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が30.6%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が8.3%となっている。



### ■サービス利用の組み合わせ別（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務のみ）

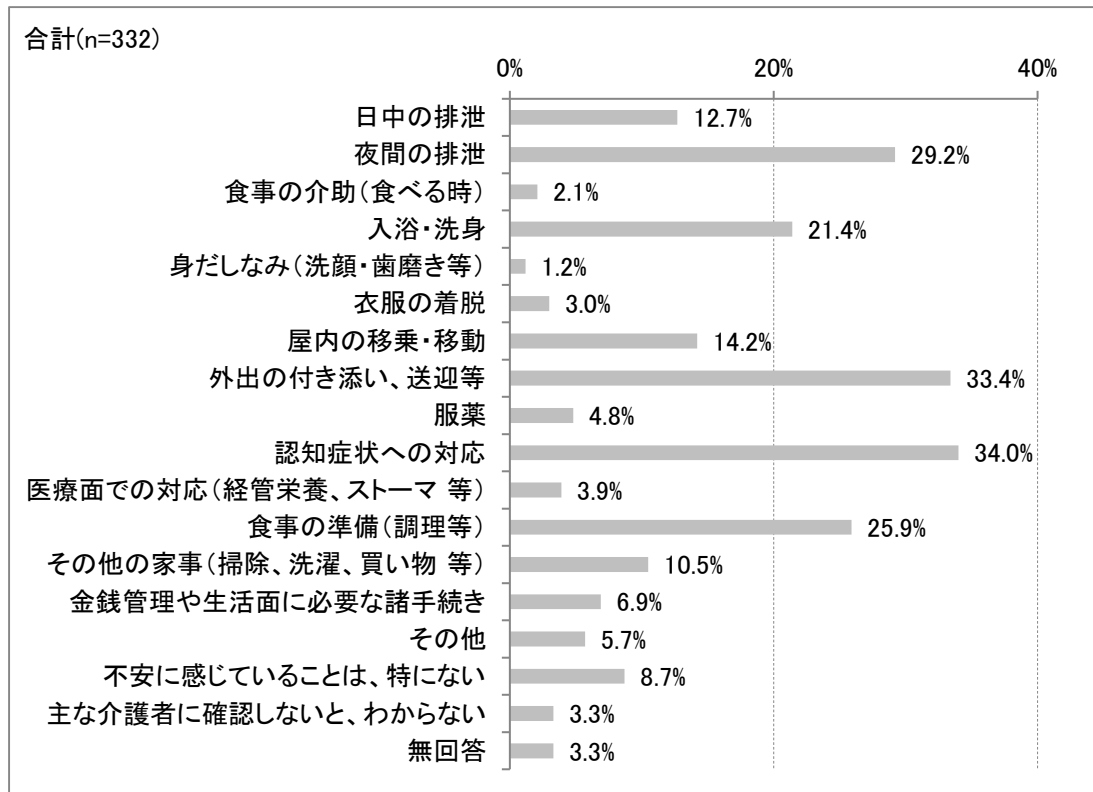
介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が25.8%、「わからない」が6.5%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が50.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が31.3%、「続けていくのは、やや難しい」が8.3%となっている。



問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）。

介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」の割合が最も高く 34.0%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（33.4%）」、「夜間の排泄（29.2%）」となっている。

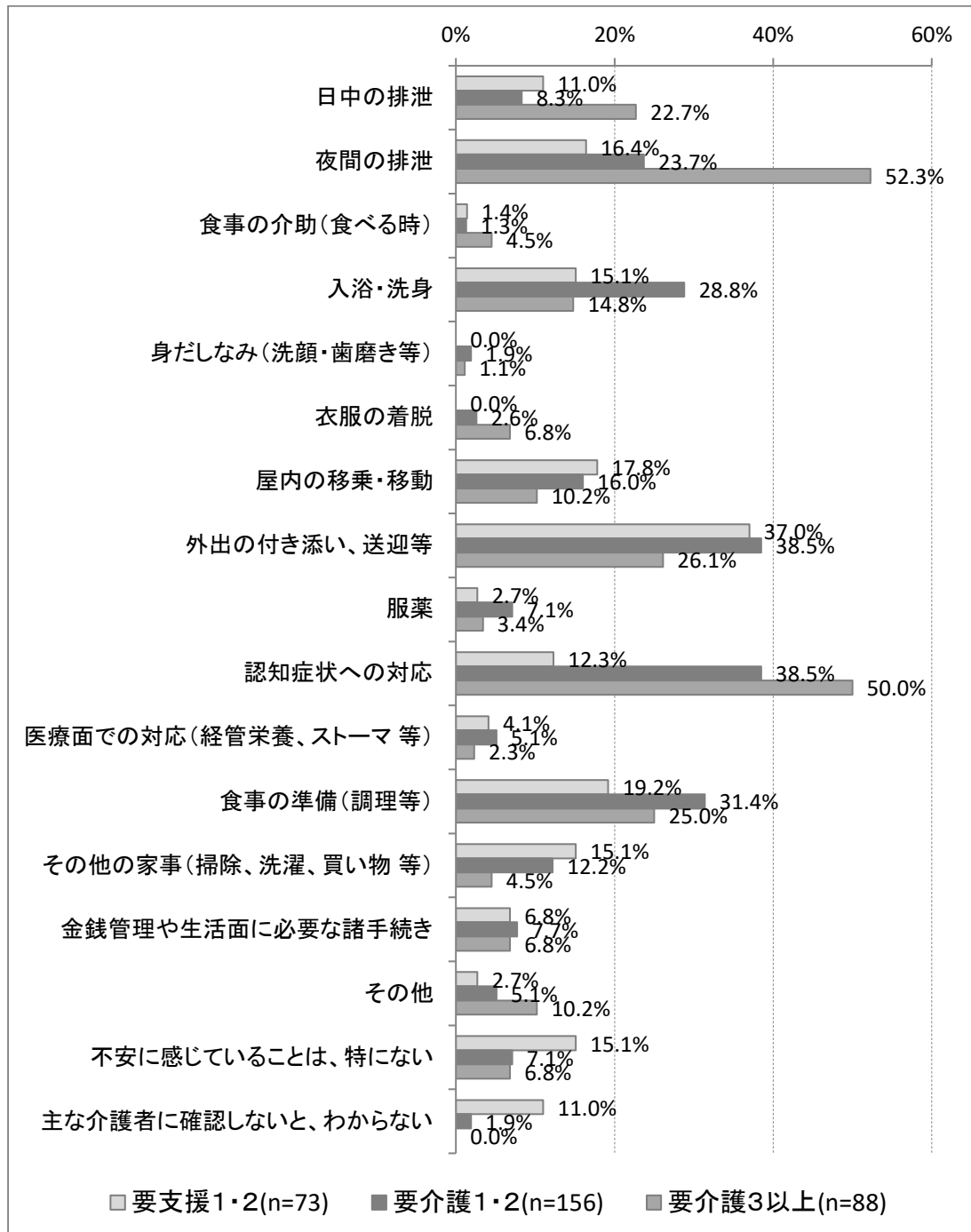


## ■要介護度別

介護者が不安を感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が37.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が19.2%、「屋内の移乗・移動」が17.8%となっている。

「要介護1・2」では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が38.5%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が31.4%、「入浴・洗身」が28.8%となっている。

「要介護3以上」では「夜間の排泄」が52.3%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が50.0%、「外出の付き添い、送迎等」が26.1%となっている。

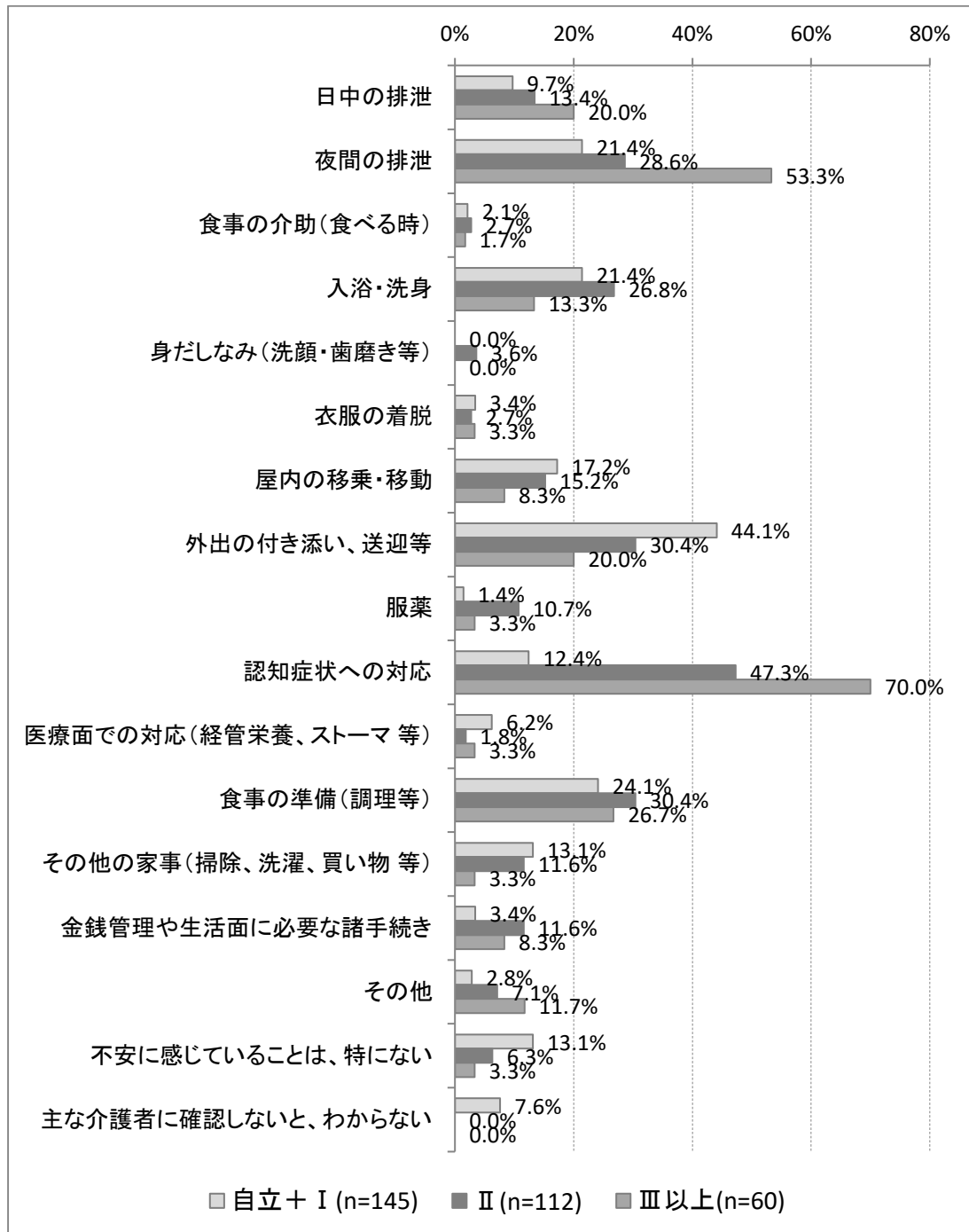


■認知症自立度別

介護者が不安を感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が44.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が24.1%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が21.4%となっている。

「Ⅱ」では「認知症状への対応」が47.3%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が30.4%、「夜間の排泄」が28.6%となっている。

「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が70.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が53.3%、「食事の準備（調理等）」が26.7%となっている。



■就労継続見込み別

介護者が不安を感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「認知症状への対応」が28.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「食事の準備（調理等）」が22.0%、「外出の付き添い、送迎等」、「不安を感じていることは、特にない」が20.3%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が45.3%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が43.8%、「食事の準備（調理等）」が34.4%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「夜間の排泄」が90.9%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が81.8%、「外出の付き添い、送迎等」が45.5%となっている。

